



平成30年度 事業報告書

平成30年（2018）4月1日から平成31年（2019）3月31日まで

特定非営利活動法人
近畿環境市民活動相互支援センター
（略称：NPO法人エコネット近畿）

もくじ

事業期間 基本方針・報告	2
1.情報の受発信・交流	5
・1-1 第14回 エコネット近畿情報交流会 の開催	
・1-2 エコネット・カフェ（環境井戸端会議）の開催	
・1-3 ホームページ、メールニュース、フェイスブック等による情報発信・公開	
・1-4 各展示会への出展	
2.団体・人材育成	11
・2-1 第14回環境市民活動助成金セミナーの開催	
・2-2 資金調達に関するスキルアップセミナーの開催	
・2-3 マネジメントセミナーの開催	
・2-4 会員団体への会議室・備品の貸し出し	
3.コーディネート	15
・3-1 企業と環境NPOの協働セミナーの開催	
・3-2 CSRのコーディネート	
4.コンサルティング	16
・4-1 個別相談への対応	
5.統一テーマ活動	17
・5-1 河川流域自然環境再生支援／クリーンアップ活動への協力	
運営体制	18
・1 役員等の数	
・2 平成30年度総会の開催	
・3 理事会の開催	
・4 運営会議の開催	
会員の推移	20

平成30年度 事業報告書
事業期間
基本方針・報告

事業期間

平成30年（2018）4月1日～平成30年（2019）3月31日

事業報告書のまとめ

エコネット近畿が目指す「環境の保全、生態系の維持及び持続可能で豊かな社会の実現」のため、中間支援組織の役割と考える「1.情報の受発信・交流」「2.団体・人材育成」「3.コーディネーター」「4.コンサルティング」「5.統一テーマ活動」の5つのテーマを明確に意識し、基幹事業ならびに自主事業を継続・補完・発展させることを目標としました。

特に、新3ヵ年計画2年目となる今年は、「情報交流会」と「環境市民活動助成金セミナー」の2つの基幹事業のプログラムの刷新で得た成果の検証を行いました。同時に昨年の事業実施後の課題として挙げられた、①各事業の相互補完、②参加者の変容の測定ならびに測定方法の確立、③各連携主体との関係性の深化の3つの目標に取り組みました。

まず、①各事業の相互補完については、取り扱うテーマや参加対象者、目的など、いくつかの共通部分や連動部分を持たせるなど工夫をしました。具体的には、「資金調達のためのスキルアップセミナー」で、広く資金調達の設計や考え方を学び、その後、実際に団体に適した資金調達法の最新情報を「環境市民活動のための助成金セミナー」で得ていただくよう開催日程を調整したり、「情報交流会」と「企業と環境NPOの協働セミナー」とで共通したテーマ「SDGs」を取り上げるなどがあります。

次に②の参加者の変容については、2つの基幹事業についてセミナー終了後のアンケートの設問で、参加前と参加後の認識の変化の測定を試みました。

最後に、③の各連携主体との関係性の深化については、協働セミナーにおける近畿経済産業局との新たな繋がりや、龍谷大学院へ地域人材育成の相互協力に関する協定を締結に基づき推薦するなど、新たな関係性の一步を踏み出しました。

5つのテーマを意識しながら、①②③に取り組んだ結果、市民団体のみならず団体支援に関わる主体など新規顧客を開拓できました。新たなネットワークの広がりから、環境活動を推進するうえで重要かつ、多様な情報が集積され、その発信力に多くの信頼が集まりました。

次年度もひきつづき、中間支援の役割を明確に、目標達成に向けて事業をすすめていきます。

事業報告のまとめ

「1.情報の受発信・交流」 ～エコネット近畿情報交流会～

宿泊参加型ミーティング5年目の今年、開催時期を、総会や事業準備に多忙な6月から2月に変更し、昨年大きな成果が生まれた情報交流会は、昨年の成果の検証の年と位置付け、同時期・同会場・プログラムの一部改善と、準備作業における外注や役割分担による作業効率の向上による準備期間の短縮を試行し手ごたえを感じる結果となりました。

>> 参加者満足度 6%アップ、スキルアップできて満足と答えた人 9%アップ

参加者数目標数値である100人に届かなかったものの、全体として相互交流の密度の濃さを感じられ、満足度についても「10点」を選択された方 6%アップ（32%→38%へ）、また、組織運営力・個人のスキルアップにつながり大変満足と評価された方 9%アップと、個々人の満足度の向上が見られました。

>> プログラムのブラッシュアップで満足度アップ

外部からゲストを招き、2日間「持続可能な社会のなりわい」にテーマをしぼり深く掘り下げて考える機会をもつなどプログラムをブラッシュアップしました。結果、ゲストが関わるプログラムでは、特に満足度が高い傾向にありました。

>> 地域・世代・分野を超え SDGs への関心の高まり

新たに、関西SDGsプラットフォーム、近畿地方ESD活動推進センターに後援を依頼したほか、昨年の参加者の要望に応えSDGsを分科会で再掲しました。参加者のSDGsの認知度は半分以上と、全国データの14%と比較すると大きく広がりを見せ今後に期待できます。

>> 環境配慮型のセミナーへ

ひきつづき、マイカップの使用、アメニティの不使用、紙資料の削減など、参加者の協力により環境に配慮したセミナーを意識することができました。

事業報告のまとめ

「2.団体・人材育成」 環境市民活動助成金セミナー

>> 参加者目標達成 74人 新規参加率 86.5%

そこで、昨年から「セミナー時間の拡大」と「講座を選択制」により、異なるニーズに応えられるようプログラムをデザインした結果、目標数を上回る参加があり、しかも、顧客満足度は例年と同水準を維持することができ、成果を検証することができました。

しかも、新規セミナー参加者が86.5%、申請をしたことのない団体が全体の半数を数え、助成財団とNPOの新たなマッチングの機会となりました。

>> 申請への意欲 4割以上が「申請しようと思う」と回答

さらに、セミナーを受講する前と後での参加者の意識の変容について、アンケートによる調査の結果、「申請する予定がなかった」団体の4割以上が、参加受講後「申請しようと思う」と回答し、変容がみられました。

>> 助成財団との関係性の深化は、次年度への課題

今年度は、登壇する助成財団より徴収した参加費で、参加費割引を実施した結果、定員を超える申込みへとつながりました。終了後のふりかえりでは、個別質問会前に離席される方が目立つなど、会場レイアウトや進行上の課題について次年度以降の改善点など、助成財団より率直な意見が述べられるなど、セミナーを介して関係づくりがはじまりました。

助成金セミナーでは、異なる成長ステップや規模の団体が同一のセミナーに参加することから、対象顧客や参加助成財団の絞り込みが難しいことが課題でした。

また、資金調達方法や助成制度が多様となり、NPOが団体や活動に適した調達方法や助成制度を取捨選択する際の判断基準となる情報が不足しているように感じられました。

一方で、助成財団側には、制度活用団体の固定化の解消や申請書作成に係るスキルアップを望む声が聞かれました。

平成30年度 事業報告書

1.情報の受発信・交流

- ・近畿の持続可能で豊かな社会の実現に関わる情報(提供・仲介)の受発信
- ・環境保全活動のネットワーク構築

1-1 第14回 エコネット近畿団体情報交流会 「持続可能な社会・なりわい・暮らし ささやまミーティング」の開催

【目的】①近畿の環境、里山団体、個人が出会い、学び合う場、連携のきっかけを提供する。
②団体の組織運営力の強化、個人のスキルアップを目指す。

【事業概要】地域の環境課題に取り組む活動団体に焦点を当て開催する。様々な団体、個人が分野、立場、世代を超えて集い、自らの啓発と活動の発展のために、自らの活動を「持続可能な社会・なりわい・暮らし」という観点で問い直し、活動を紹介し合い、語り合い、学び合うことを目指す。これからの社会を創る！そんな思いを胸に、ミーティングに集い、ネットワークを広げ、パワーアップする。

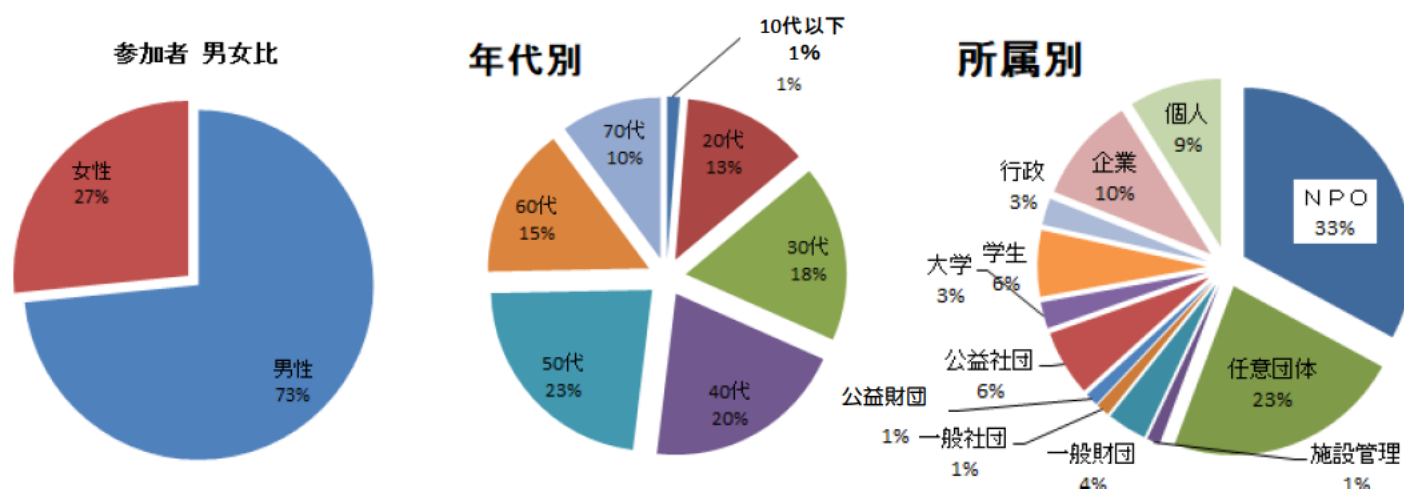
【実績】・参加者数：79人・57団体（一般37人、会員37人、学生5人）目標数：100人
・新規参加率：46%（新規：リピーター＝36人：43人）
・会員獲得数：2団体・人（目標数15人）
・宿泊者数：68人、日帰り：11人
・参加者の満足度：10点満点 6%アップ（昨年32%→今年38%）
満足と答えた理由 1位「多様な価値観、多様な人との交流・意見交換ができた」
2位「楽しかった」、3位「テーマ、講師がよかった」「学びになった」
・組織運営力や個人のスキルアップに関する満足度 9%アップ（57%→66%）

【実施日時】平成31年（2019）2月22日（金）・23日（土）（1泊2日）

【実施場所】ユニットピアささやま（兵庫県篠山市）

【対象者】農、林、自然、環境、教育、地域づくり、福祉等の市民活動の実践者・運営者、企業行政等の担当者、大学等の研究者、学生

【参加費】一般 12,000円、会員 11,000円、学生 8,000円



平成30年度 事業報告書

1.情報の受発信・交流

- 【内 容】①オープニング、アイスブレイク
②事例紹介、全員ディスカッション（テーマゲスト、参加団体）
「まちを将来世代につなぐ？ 神山町の「すまい・ひと・しごと」づくり」
西村佳哲さん（神山つなぐ公社理事、リビングワールド代表）
③活動発表 17枠（6枠×3部屋） 同時進行
④交流会、分科会（6テーマ）
⑤ポスターセッション 10枠
⑥早朝オプションプログラム、ふりかえり

- 【主催】 NPO法人エコネット近畿 / 一般財団法人セブン-イレブン記念財団
【共催】 公益社団法人大阪自然環境保全協会
【企画・運営】 ささやまミーティング 2019実行委員会
【後援】 大阪府、京都府、滋賀県、奈良県、兵庫県、和歌山県
関西SDGsプラットフォーム、近畿地方ESD活動支援センター
【協力】 パナソニックグループ労働組合連合会 休暇村 ユニピアささやま



- 【課題】①時間経過後の「連携」「スキルアップ」など効果測定
②多様な分野、異なるセクターの参加・巻き込み

【収入】 1,261,620円

【支出】 1,130,214円（消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、他）

【収支差額】 131,406円

1.情報の
受発信・交流

1-2 エコネット・カフェ（環境井戸端会議）の開催

- 【目的】①団体の活動を社会に認知される機会と場の提供。
②興味関心のある分野の情報について他の団体と交流する。
- 【実績】参加者数 42人（目標 90人）

7/18

「衣服の安全性を考える～家庭の洗濯、クリーニング屋さんの洗濯～」

【講座】高見 明美氏（せんたく工房 無有）

【内容】環境問題は、私たちの健康問題であり、食の安全性と同じく、衣服の安全性を考えることは大切。洗濯を取り巻く環境問題、クリーニング屋店の諸事情や衣服の安全性について話題提供いただいた後、質疑応答。

【実績】・参加者数 5人（目標15人）

- ・環境に興味をもたれる一般市民の参加もあり、カフェを通じてNPO活動を知っていただける機会の提供ができた。



8/3

「たまねぎの皮でエコバックづくり へらそうごみの取組」

【講座】水藻 英子氏（特定非営利活動法人 大阪環境カウンセラー協会）

【内容】大阪環境カウンセラー協会では、SDGs17の目標のうち、「4. 質の高い教育をみんなに」「8. 働きがいも経済成長も」「17. パートナーシップで目標を達成しよう」の実現にむけ、「高齢者・障がい者環境出前講座」を実施している。エコバック作成と活動紹介。

【実績】・参加者 7人（目標15人）
・新規顧客ばかりの参加となった。



1.情報の
受発信・交流

1-2 エコネット・カフェ（環境井戸端会議）の開催

8/22

「豊中市伊丹市クリーンランドを見学しよう！」

【講 師】小篠 和之氏（特定非営利活動法人 豊中・伊丹環境政策フォーラム）

【内 容】クリーンランドの小篠氏に施設を説明していただきながら、私たちがいつも出している『ごみ』の処理過程や資源化について学んだ。

【実 績】参加者数 4人（目標15人）
会員の声をもとに、エコネット近畿 事務所から出て会員の活動拠点を訪問しての見学会をはじめ開催。



1/18

「自然に学ぶ～新幹線500系開発秘話～」

【講 師】仲津 英治氏（『地球に謙虚に』）

【内 容】日本の新幹線で日本の新幹線で、最初に時速300kmの営業運転を行った500系新幹線電車。この500系の開発にあたっては、最大テーマは速く走ることより、静かに走ること。そこに野鳥の優れた特徴が活かされたエピソードの紹介。

【実 績】参加者数 22人（目標 15人）
企業からのご参加もあり、多様な参加者にお集まりいただいた。

【課 題】・環境活動団体の交流の場であると同時に、一般の市民・学生など個人の方と団体をつなげる場としての役割も意識した「場」へと発展させる。
・資料代や材料費を徴収することで、内容に幅や深みをもたせる。

【全回収入合計】 15,000円（参加費）

【全回支出合計】 13,348円（旅費交通費、会議費、印刷費）

【収 支 差 額】 1,652円

1.情報の
受発信・交流

1-3 ホームページ、メールニュース、フェイスブック等による情報発信・公開

【目的】 支援する人・団体と支援を求める人・団体を「結ぶ」

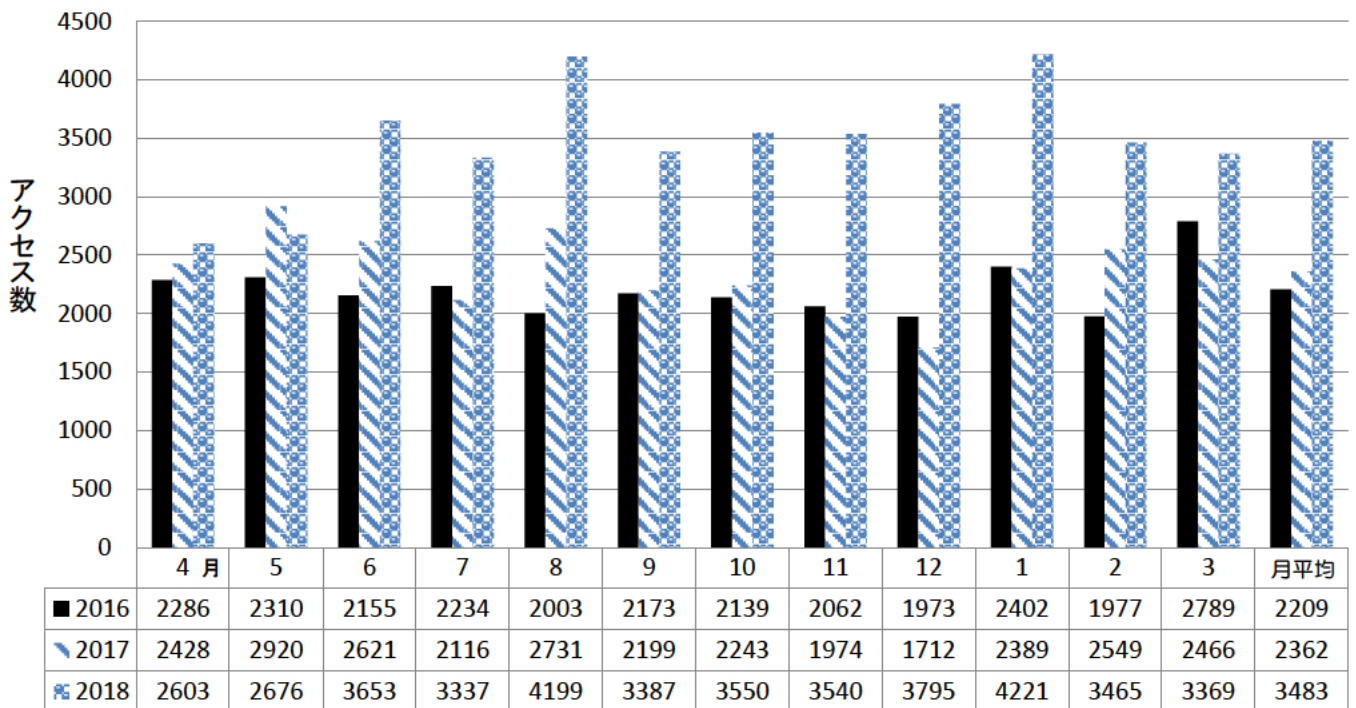
- ①行政、企業、研究機関、環境NPO間の情報発信・交流。
- ②多様な環境活動情報の配信により、環境啓発をはかる。
- ③会員団体の情報発信。
- ④地域資源のリソースマッチング（人材、フィールド、資金等）。

【事業概要】 環境NPO、行政、企業、研究機関、地域住民に対し、環境情報、イベント情報、助成金・補助金情報、ボランティア情報、会員のインタビュー記事等を配信。

【実績】 「顧客」が求める情報を、活用しやすい形で発信する体制を整える。

- ・ホームページアクセス（閲覧者数）：平均 3,483回/月 更新1回/週
- ・メールニュース：月2回+臨時号 30号 配信数 1,814部（昨年 1,364部）
- ・エコネット近畿会員情報メール：57号（昨年 80号）
- ・フェイスブック：604 いいね！（昨年455）33%増

ホームページ月間アクセス数



1.情報の
受発信・交流

1-4 各展示会への出展

- 【目的】①活動の広報および参加者交流。
②環境活動の市民へのひろがりを目指す。

- 【実績】・3会場（イベント）
・エコネット近畿の事業と会員活動の紹介（イベントチラシの配架）
・団体交流、ヒアリングの機会

<第10回 水辺の匠おもしろステージ>

- 【実施日時】平成30年（2018）7月16日（日）・17日（月）
【実施場所】水のめぐみ館ウォーターステーション琵琶（滋賀県大津市）
【主催】ウォーターステーション琵琶の会
【来場者】2,940人
【内容】エコネット近畿 主催事業のパネル展示、当日運営スタッフとして参加。

<平成30年近畿ESDフォーラム>

- 「地域資源を活用して、子どもたちの学ぶ力を育てる授業をつくろう～地域とつながる、
“社会に開かれた教育課程”とは!?学校・行政・拠点の連携により地域の課題解決に迫る!～」
【日時】平成31年（2019）1月12日（土）10：00～16：30
【場所】OMM(大阪マーチャンダイズ・マート) 201会議室
【対象】学校教員・教育関係者、自治体職員、博物館・環境学習施設・社会教育施設等の地域
拠点、学校と連携したESDに取り組む団体・組織、教員を目指す学生等
【来場者】70人
【内容】エコネット近畿 主催事業のパネル展示、第14回エコネット近畿情報交流会のPR

<環境フェスタ in かたの>

- 【実施日時】平成31年（2019）3月10日（日）
【実施場所】星の里いわふね（大阪府交野市）
【主催】交野市民環境会議
【来場者】800人
【内容】エコネット近畿 主催事業のパネル展示、当日運営スタッフとして参加。

2. 団体・人材育成

- ・ 持続可能な社会の形成に向けた地域づくりを行うNPOに対し、活動支援となるセミナーを開催
- ・ 環境NPOや環境活動リーダー、運営スタッフのスキルアップ

2-1 環境市民活動助成金セミナーの開催

【目的】 ①環境活動団体が「助成金」をより効率的に活用できるよう情報を提供する。
②志を同じくする助成財団と環境活動団体のより良いパートナーマッチングを目指す。

【事業概要】 参加団体の成長ステージにあわせ、助成申請に関する事務力向上や事務局のネットワーク構築の機会として、選択制の講座を助成金セミナーと同日に開催。セミナー終了後も、資金調達に関するスキルアップセミナーや個別相談で補完、団体が資金調達に至ったか、追跡調査し成果の「見える化」に取り組む。

【実績】 ・参加者数：74人（目標数 50人）
・会員獲得数 5 団体・人。
・参加者の満足度 10点満点で10～9点 39%（昨年 40%）
・申請団体数、採択団体数は、次年度アンケート等にてヒアリング。
・個別相談件数 6団体、採択団体数 2団体。
・補助金・交付金の情報提供ページの開設。
・他のNPOからの事業開催に関する問い合わせ 6件

【実施日時】 平成30年（2018）10月6日（土）10：00～16：30

【実施場所】 大阪産業創造館 5階 研修室 A・B・C（大阪市）

【対象者】 資金調達に関心のある環境NPO、任意団体、行政の方

【参加費】 一般 500円、会員 無料、登壇する企業 5,000円

【内容】 ①新しい流れと書き方講座 資金調達の新しい流れ／助成金申請書の書き方講座
②環境市民活動助成金セミナー 事例紹介（NPO×財団）・制度説明（12団体）
③個別質問会

【参加助成財団】 環境再生保全機構、河川財団、損保ジャパン日本興亜環境財団
瀬戸内オリーブ基金、TOTO、トヨタ自動車、阪急阪神ホールディングス、
ラッシュジャパン、近畿ろうきん、セブン-イレブン記念財団
FAVVO by Campfire、サービスグラント、しみん基金KOBÉ

【主催】 NPO法人エコネット近畿 / 一般財団法人セブン-イレブン記念財団

【後援】 大阪府、大阪市

【課題】 ・セミナー参加者の変容の測定、測定方法
参加されたNPOの組織基盤の強化につながったかどうか、その成果を測定する。
・助成財団との関係性の深化・つながり方
これまでNPO目線でのセミナー開催に注力してきたが、今後はさらに助成財団との関係性を深めることが次につながる事がわかった。

【収入】 260,393円（助成金185,893円、参加費 24,500円、企業参加費 50,000円）

【支出】 224,712円（消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、他）

【収支差額】 35,681円

2-2 資金調達に関するスキルアップセミナー 共感が生まれるプロジェクトづくり

- 【目的】①環境活動団体が「助成金」をより効率的に活用できるよう情報を提供する。
②志を同じくする助成財団と環境活動団体のより良いパートナーマッチングを目指す。
- 【事業概要】助成金セミナーの補完事業として位置づけ、資金調達についての考え方と設計についての情報提供とスキルアップを目指して頂く。
特にはじめて助成金申請を考えておられる団体など、年間を通じ個々の団体の成長プロセス（立ち上げ期、成長期、拡大期）や団体の規模、ニーズに合わせ、資金調達の基礎となる事業計画、立案のポイントを学ぶ。
- 【実績】・参加者数 14人（目標数 15人）
・会員獲得数 0 団体・人
・これまで助成金セミナーや資金調達セミナーへの参加が少なかった若者世代の参加が見られた。（20～30代）
- 【実施日時】平成30年（2018）9月19日 19：00～21：00
- 【場所】平野町シバタビル 3F 大阪市中央区平野町 2-2-6
※当初エコネット近畿 事務所で開催予定であったが、空調故障のため外部に会議室を借りて開催した。
- 【対象者】はじめて助成金申請をする方、これからNPOを立ち上げたい方
- 【参加者】一般 1,000円、会員 800円
- 【講師】生島 正氏（FAAVO by CAMPFIRE 神戸運営代表）
- 【内容】複数の事例とワークショップを通して、参加者のみなさんが取り組んでいる、または、これから取り組むプロジェクトをより共感が得られるプロジェクトになるようブラッシュアップ。
- 【主催】NPO法人 エコネット近畿
- 【課題】活動の分野を問わず、一般的な「助成申請」に応用できる内容であることを広報し、より多くの団体の組織基盤強化につなげる。
- 【収入】 13,200円（参加費）
- 【支出】 14,737円（旅費交通費）
- 【収支差額】 ▲1,537円



2-3 マネジメントセミナー NPOのためのマネジメントセミナー

【目的】①近畿の環境団体の「組織運営力」のスキルアップによる活動の活性化。
②組織において運営のコアな部分に関わるスタッフ育成。

【事業概要】環境NPOが社会の変化に対応し、「事業計画」「人材育成」「資金調達」「ニーズ分析」「組織マネジメント」のほか、「NPO会計」等の実務のスキルアップをめざしていただくためのワークショップ、講座を織り交ぜ体系的に実践力を養う。

【実績】・参加者数 16人（目標数10人）
・アンケート結果から満足度10点～9点（64％）の評価があった。
・参加の前後で、「団体のミッション」「顧客」に関する理解度がアップした。
・参加者全員が「とても得るものがあった」「得るものがあった」と評価。

【実施日時】平成30年（2018）10月25日（木）13：00～16：30

【実施場所】おおさかATCグリーンエコプラザ セミナールーム

【対象者】スキルアップをめざす団体運営スタッフ

【参加費】1,000円（資料代、実費）

【講師】小野 弘人氏（セブン-イレブン記念財団 地域活動支援事業マネージャー）

【内容】①団体が活動する上で必要な、ミッションや目標の「明確化と共有」。
②映画「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」の鑑賞。
③マネジメントの成功事例の紹介。
④ワーク：「団体の顧客とは誰か？」

【収入】15,600円（参加費）

【支出】1,765円（交通費、会議費）

【収支差額】13,835円



2-4 会員団体への会議室・備品の貸出

【事業概要】 会議室・備品の貸出などの支援により、少人数のセミナーを開催し活動を広めていただく機会と場を提供する。

会議室利用のご案内

エコネット近畿では、会議室の貸室を行っています。
環境に関する学習活動や、研修、会議の場としてご利用ください。



- 開館時間 ● 平日 9時30分～18時30分まで
- 受付電話 ● 06-6881-1133
- 受付時間 ● 平日 9時30分～18時30分まで
- 定 員 ● 18人 床面積 30㎡×1室

申込方法

- 1、電話にて、会議室の空き状況を確認してください。
- 2、使用目的と人数、時間帯をお知らせください。
- 3、2か月先までのご予約をお受けいたします。

会議室利用時間について

利用時間	平日 9時30分～18時30分（夜間は要問合せ）	・申請された使用時間内で準備・後片付けを行ってください。
正会員	無 料	・開館時間以外でご利用の際は、事務局にご相談ください。
賛助会員	無 料	・館内は禁煙となっておりますので、喫煙はしないでください。
一 般	ご利用いただけません	・期間により「冷暖房装置に係る加算額」を別途徴収する場合があります。

付属設備について

長机	6台	1、パソコンは、各自ご持参ください。 2、会議室は、WiFiをご利用いただけます。 3、施設・器具等を紛失したり、き損した時は、速やかに事務局に申し出てください。 なお、この場合、使用者に損害を賠償していただく場合があります。 4、左記以外に必要な設備はご相談ください。
椅子	18脚	
ホワイトボード（可動式）	1台	
* ----- *		
湯沸かしポット	1台	
マグカップ	15客	
急須	1個	

お申込・お問合せ エコネット近畿 事務局

530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-14
サンプラザ南森町 401

☎ 06-6881-1133

【収 入】 0円（会員対象にて無料）
【支 出】 0円
【収支差額】 0円

会議室貸出		51件
年 月	回数	利用者数
平成30年 4月	5	41
5月	3	26
6月	6	48
7月	16	116
8月	6	55
9月	4	17
10月	4	52
11月	4	20
12月	5	31
平成31年 1月	2	10
2月	4	33
3月	7	48
合 計	66	497

備品貸出		19件
備品（ごみハサミ）		4件 / 280本
国際ごみ拾い（1回）		100本
天神祭ごみゼロ大作戦		100本
ブルーサンタ		20本
おお川水辺クラブ		60本

その他の備品貸出件数 12件

机、椅子、名札、プロジェクター、ブルーシート、卓上ベル、台車、秤救急セット、ロッキー

3.コーディネート

- ・近畿で環境活動を行うNPO、企業、行政のネットワークの構築支援
- ・環境活動における地域間、分野間の協働推進
- ・環境活動資源交流（人、モノ、資金、情報、マネジメント、専門スキル）

3-1 企業と環境NPOの協働セミナーの開催

- 【目的】①企業とNPO、行政の連携・協働事例から新しい協働のヒントを得て頂く。
②企業とNPO、行政の協働を考える場、出会いの場を提供する。
- 【事業概要】企業や行政、地域の方に、環境NPOの活動を認知して頂く機会として場を提供すると共に、潜在的な協働のニーズやウォンツを探る場とする。
- 【実績】参加者数 23人（一般 10人、NPO 13人） / 目標数 30人
会員数 4団体・人（特典により平成30年度会員として3人入会）
情報交流会につながる意見交換ができた。
- 【実施日時】平成31年（2019）12月14日（金）14：30～16：30（予定）
【実施場所】大阪産業創造館 5階 研修室A・B
【対象者】協働に関心のある企業、行政、環境NPO
- 【内容】①近畿経済産業局による情報提供
②環境分野における、異なるセクター間の協働事例発表
③グループディスカッション
- 【参加費】一般 3,000円、会員・学生 1,000円
【発表団体】（行政）近畿経済産業局
（企業）キタイ設計株式会社、谷林業株式会社、株式会社パン・アキモト
（NPO）天神祭りのごみゼロを考える会事務局
【後援】大阪府、近畿経済産業局、関西SDGsプラットフォーム
- 【収入】43,000円（助成金、参加費）
【支出】66,432円（消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、他）
【収支差額】▲23,432円

3-2 CSRのコーディネート

- 【目的】企業と環境NPOの協働を促進する。
- 【事業概要】環境活動を推進しようとする企業に対し、連携する環境NPOの紹介や環境活動へ助言や支援を行う。また、持続可能な環境活動のため地域資源の紹介やマッチングを行い、企業と環境NPOの交流をはかる。
- 【実績】①助成財団に対する申請状況のヒアリング（電話、メールなど）
③申請書の配布に協力いただいた中間支援に対する申請情報のヒアリング
④助成制度資料を送付した団体への進捗状況のヒアリング

4.コンサルティング

- ・持続可能な地域づくりを行う環境NPO、企業、行政に対し、各相談に応じ助言や紹介、支援を行う
- ・環境活動をすすめる際に必要な支援を受けたり、情報を入手できる場となる

4-1 個別相談への対応

- 【目的】①環境NPOが抱える個別の課題に共に向き合い、解決への糸口を見出す。
 ②団体内の課題を解決することで、活動の活性化を促す。
 ③相談内容から共通課題を抽出し、支援事業を実施する。

【事業概要】環境活動をしている団体、または、これから環境活動を始めたいと考える個人に対し、電話やメール、ファクス、来所にて随時相談を受け付ける。
 また、各セクターが地域で環境活動を推進しようとする際に必要な情報を提供。

- 【実績】対応件数:432件（昨年：321件、一昨年：271件）
- ・広報支援依頼：230件（昨年：228件、一昨年：120件）
 イベント情報等メールニュース、HPへの掲載依頼、チラシの配架依頼。
 - ・資金調達についての相談：55件（昨年：31件、一昨年：21件）
 助成金申請書のアドバイス（6件）、助成金情報の問合せ、推薦状の発行。
 - ・地域資源マッチング：70件
 ネットワーク（団体や個人の照会など）、資源提供（場所など）
 - ・マネジメント、協働、ノウハウ、専門性に関する相談：77件（昨年：29件）
 NPO設立・運営に関する相談、定款の変更、役員変更手続・事務所移転登記。

		分類					
		任意団体	NPO団体	企業	市民	行政	助成財団
合計件数	432	75	203	31	41	49	33
比率	100%	17.36%	46.99%	7.18%	9.49%	11.34%	7.64%
前年件数	321	43	170	24	21	42	21
前年比	35%	74%	19%	29%	95%	17%	57%

		項目							
		ヒト	モノ	資金	情報	マネジメント	ノウハウ	専門性	協働
合計件数	432	46	24	55	230	14	18	19	26
比率	100%	10.65%	5.56%	12.73%	53.24%	3.24%	4.17%	4.40%	6.02%
前年件数	321	24	9	31	228	1	13	9	6
前年比	35%	92%	167%	77%	1%	1300%	38%	111%	333%

		会員別					
		非会員	会員	個人正会員	団体正会員	個人賛助会員	団体賛助会員
合計件数	432	264	168	44	100	7	17
比率	100%	61.1%	38.9%	10.2%	23.1%	1.6%	3.9%
前年件数	321	226	95	23	48	10	14
前年比	35%	17%	77%	91%	108%	-30%	21%

5.統一テーマ活動

- ・近畿の持続可能で豊かな社会の実現に向けて、地域や分野を越えて、個別団体の活動をつなげる

5-1 河川流域自然環境再生支援／クリーンアップ活動への協力

【目的】①環境啓発活動として地域と連携した一斉活動（一斉調査、一斉清掃等）を行う。
②NPO活動の「見える化」と「活性化」。

【事業概要】「きれいな水辺でつながろう～びわ湖・淀川クリーンアップ」をキャッチフレーズに、NPO活動の「活性化」「見える化」を支援することで、広く市民に環境問題への気づきを広め、地域住民の生活環境の改善を図る。
地域で実施する一斉清掃に、ごみハサミの貸出や広報による協力を行ったり、Webサイト上に、クリーンアップ活動団体情報やイベント情報を掲載。

【実績】・海ごみ関連の情報掲載
・全国川ごみ拾いアンケート調査 広報協力

【実施日時】随時

【対象者】近畿の河川流域で活動しているNPO/企業・行政・専門家および住民

【内容】Webサイトへの情報掲載

【収入】 95,000円（エコポイント寄付より拠出）

【支出】 ▲95,000円（通信費、支払手数料）

※エコポイント寄附からの支出。詳細については、財務諸表の注記下段用途制限のある寄附参照。

<HORIKAWA エコ★スカ 2018>協力活動・運営委員会への参加

【日時】平成31年 春～秋 開催予定

【実行委員会】平成30年（2018）11月16日 19：00～21：00

平成31年（2019）1月23日 19：00～21：00

2月15日 19：00～21：00

3月15日 19：00～21：00

【場所】大阪市北区堀川地区

【内容】北区堀川地域の地縁組織、企業、任意団体、大阪市北区まちづくりセンターと連携「調査・ゲーム型ごみ拾い」のスタッフとして活動。
地域一斉清掃：1チーム5人制のチーム対抗ごみ拾いを行い、
：家で眠っている不要小型家電も回収した。

【主催】HORIKAWAエコ☆スカ実行委員会

【協力】堀川地域活動協議会、堀川連合振興町会、堀川地区社会福祉協議会、堀川女性会
堀川小学校、NPO法人ダカー歩、Caféくるみ、NPO法人エコネット近畿

1 役員等の数

- ・理事長 1人
- ・副理事長 1人
- ・理事 15人
- ・監事 2人

2 平成30年度総会の開催

【実施日時】平成30年（2018）6月9日（土）15：20～16：20

【実施場所】おおさかATCグリーンエコプラザ 11階 セミナールーム

【対象者】エコネット近畿 正会員

【内容】審議事項

第1号議案	平成29年度	事業報告書	承認の件
第2号議案	平成29年度	活動計算書、監査報告	承認の件
第3号議案	平成30年度	事業計画書	承認の件
第4号議案	平成30年度	活動予算書	承認の件

3 理事会の開催

第40回 定例理事会

【実施日時】平成30年（2018）4月17日（火）19：00～22：00

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】15人（本人出席 14人、書面表決 1人）

【内容】平成30年度総会審議内容

平成29事業報告書（案）、活動計算書（案）

平成30事業計画書（案）、活動予算書（案）

第41回 定例理事会

【実施日時】平成30年（2018）6月9日（土）19：00～22：00

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】10人（本人出席 10人）

【内容】エコネット近畿 後援名義使用申請の承認

第42回 定例理事会

【実施日時】平成30年（2018）8月28日（火）19：00～22：00

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】14人（本人出席 12人、書面表決 2人）

【内容】平成30年度主幹事業（情報交流会、助成金セミナー）および自主事業の検討

3 理事会の開催

第43回定例理事会

【実施日時】平成30年（2018）10月25日（木）19：00～22：00

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】12人（本人出席 8人、書面表決 4人）

【内 容】平成31年度エコネット近畿 事業計画（案）、活動予算（案）

第44回定例理事会

【実施日時】平成30年（2018）12月14日（金）19：30～22：00

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】11人（本人出席 10人、書面表決 1人）

【内 容】平成31年度総会審議内容

第45回定例理事会

【実施日時】平成31年（2019）3月6日（水）19：00～21：00

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】14人（本人出席 12人、テレビ会議出席 1人、書面表決 1人）

【内 容】平成31年度総会審議内容、役員（理事、監事）候補の選定、情報交流会の報告

4 運営会議の開催

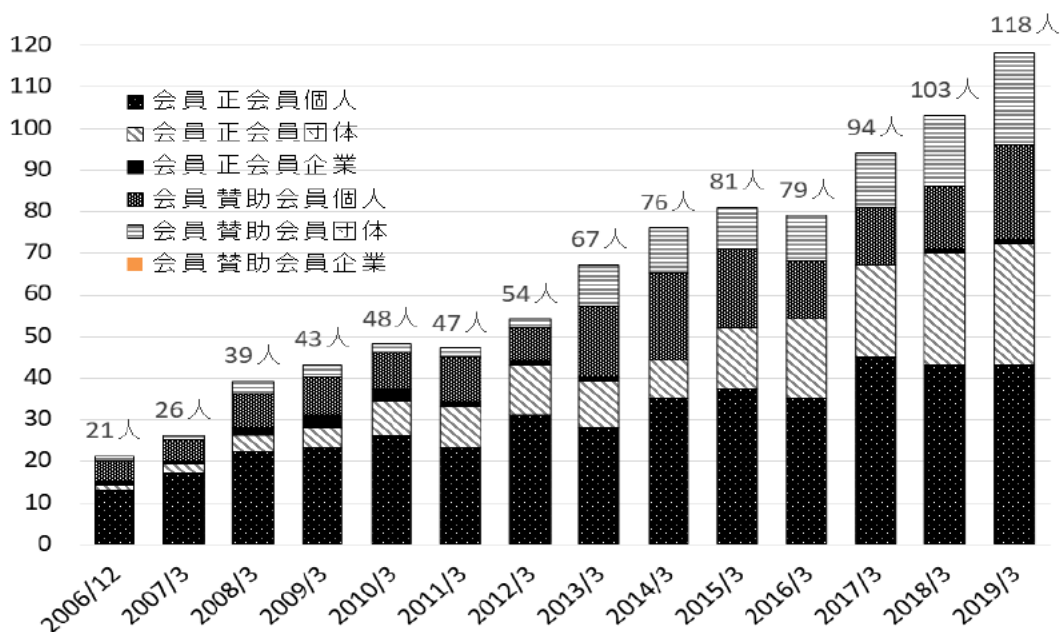
- 今期は、各事業とも実行委員会形式で運営し、運営会議として事務局から理事会全体に招集をかけることはなかった。

会員数の推移

会員数の推移

昨年の総会での会員制度の見直し（入会金の廃止、会議室の無料貸出など）の結果、既存会員は「個人会員から団体会員」への種別変更、新規入会者は「賛助会員より正会員」を選択する方が増える傾向がみられた。

会員		平成29年度	平成30年度	前年比	平成30年度	達成率
		期末	期末		期首計画	
正会員	団体	27	29	7.4%↑	42	69%
	個人	43	43	—	44	102%
	企業	1	1	—	2	50%
賛助会員	団体	18	22	22.2%↑	14	128%
	個人	15	23	53.3%↑	16	157%
	企業	0	0	—	2	0%
合計（団体・人）		104	118	13.4%↑	140	84.2%



会員数の推移

【目 標】 昨年度の会員制度の見直しを受け、既存会員が会員種別を「賛助会員から正会員」、また「個人会員から団体会員へ」とステップアップされる傾向があったことから、今年度も会員特典をアピールしステップアップを促していく。

【実 績】


- ・118人（目標 140人、達成率84.2%）
- ・団体に所属する方の多くが、「個人会員よりも団体会員」への加入を選択され、結果として、個人会員より団体会員の伸び率が高くなった。
- ・企業の入会があった。
- ・主催事業に複数回参加された後に、基幹事業である助成金セミナーや情報交流会の開催にあわせ、入会されるケースが大半をしめており、事業に対する共感やそのメリット、満足度の表れとも考えられる。

【入 会】 平成30年（2018）4月～平成31年（2019）3月

- 正会員（団体）

環境カウンセラーズ京都	京都府
奈良人と自然の会	奈良県
NPO法人大阪府民環境会議	大阪府
NPO法人奥播磨夢倶楽部	兵庫県
NPO法人棚田LOVER's	兵庫県
NPO法人GIFT	東京都
- 賛助会員（団体）

NPO法人リバイブハウス	大阪府
大地の再生・京都	京都府
HTAデザイン	大阪府
NPOグリーンツーリズムもちがせ	鳥取県
大阪狭山市市民活動支援センター	大阪府
- 賛助会員（個人） 4名



NPO法人エコネット近畿

(特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター)

〒530-0041




大阪市北区天神橋2丁目北1-14 サンプラザ南森町401


TEL : 06-6881-1133

FAX : 06-6949-8288

E-mail : jimukyoku@econetkinki.org


URL : <http://econetkinki.org>





2019年度 事業報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで



特定非営利活動法人
近畿環境市民活動相互支援センター
(略称：NPO法人エコネット近畿)



もくじ

事業期間 1年のまとめ	2
1.情報の受発信・交流	3
・1-1 第15回 エコネット近畿情報交流会 の開催	
・1-2 エコネット・カフェの開催	
・1-3 ホームページ、メールニュース、フェイスブック等による情報発信・公開	
・1-4 各展示会への出展	
2.団体・人材育成	9
・2-1 第15回環境市民活動助成金セミナーの開催中止	
・2-2 資金調達に関するスキルアップセミナーの開催	
・2-3 マネジメントセミナーの開催	
・2-4 会員団体への会議室・備品の貸し出し	
3.コーディネート	13
・3-1 企業と環境NPOの協働セミナーの開催	
・3-2 CSRのコーディネート	
4.コンサルティング	15
・4-1 個別相談業務	
5.統一テーマ活動	16
・5-1 河川流域自然環境再生支援/クリーンアップ活動への協力	
6.その他（他団体との連携・協力など）	17
運営体制	20
・1 役員等の数	
・2 2019年度総会の開催	
・3 理事会の開催	
・4 ビジョン委員会の開催	
・5 運営会議の開催	
会員の推移	22

事業期間

2019年4月1日～2020年3月31日

1年のまとめ

2019年度は①基幹事業と自主事業の相互補完、②参加者の意識変容やスキルアップの測定、③連携主体との関係性の深化を目標として、2つの基幹事業（助成金セミナー、情報交流会）を核に事業を展開した。

2月の情報交流会「ささやまミーティング」は年度最後の集大成事業として、メインテーマをSDGsにして自主事業との関連性を持たせたり、自主事業で深められなかったテーマを分科会に取り入れたり、各セミナー参加者に参加を促したり、事業の相互補完に注力し、102人が参加する近畿最大の宿泊参加型ミーティングとなった。内容は全体会で「交流」「連携」等の言葉の理念を考えることで、分科会や個別の活動紹介により深い学びと気づきを促すささやまミーティングスタイルを踏襲しながらも、多様で経験豊富な実行委員によって、活動に関わる人が興味を持つ内容や仕掛けが随所に盛り込まれており、様々な主体との協働が成果へとつながった。

大型台風接近のためにもう一つの基幹事業である助成金セミナー「資金調達まるわかりセミナー」は中止となったが、開催できていれば、参加者、助成財団参加者あわせて、100人を超える過去最大規模になる予定だった。また、今年度の助成金セミナーは、姉妹団体である北海道市民環境ネットワークと地域の未来・志援センターと協働し、エコネット近畿が企画や助成財団との連絡の中心となることで、北海道と東海の助成金セミナーの成功に大きく貢献した。

エコネット・カフェでは、大阪市立総合生涯学習センターの助成を受け、環境事業協会と講座をリンクさせる取組みを行う等、他団体と連携した取組みを多く行い、自主事業でも協働を通して、連携主体との関係を深化させた。

また、初めて行政の事業受託も試み、収入源の幅を広げ、収益を出すこともできた。

今年度は、大型台風の接近や新型コロナウイルス感染拡大の影響で、セミナーの中止や、委託事業の報告会の中止を余儀なくされた。しかし、新型コロナウイルスに関しては、姉妹団体と共に環境助成サポートチームを作り、環境活動に助成する財団と採択された活動団体との情報の架け橋としてのホームページを立ち上げ、助成財団同士の情報交流を促す助成サミットをインターネットを使って行った。これは情勢に合わせた柔軟な支援を行うエコネット近畿の成長と言える。

組織としては、3人の団体や会社を主導する新理事を迎え、若手の副理事長を2人追加選任し、事務局長も若手に交代する等、更なるエコネット近畿の発展に向けた組織編成を行った。

2019年度は事業だけでなく、現3ヵ年計画の最終年ということもあり、次のエコネット近畿の活動展開について話し合う場を設けた。今までは理事を中心に計画づくりを行ってきたが、理事と会員の有志からビジョン委員会を立ち上げ、エコネット近畿の今後を話し合い、新3ヵ年計画を策定した。更にエコネット近畿の強みを生かした中間支援組織となることをめざし、3ヵ年計画の事業をブラッシュアップさせた事業企画を行うプロジェクトチームを2月末に立ち上げ、話し合いを重ねている。

1.情報の
受発信・交流

- ・近畿の持続可能で豊かな社会の実現に関わる情報（提供・仲介）の受発信
- ・環境保全活動のネットワーク構築

1-1 第15回 エコネット近畿情報交流会
「持続可能な社会・なりわい・暮らし ささやまミーティング」の開催

今年度も多様な実行委員や参加者に恵まれ、過去最大規模の情報交流会の開催ができた。1泊2日の交流会で、刺激を受けた参加者は多く、その出会いを少しでも持続させる方法として、今回初めてFacebook「ささやまミーティング2020グループ」を立ち上げた。現在、参加者の半数以上の人が参加している状態だ。今後は、開催の時間経過後の連携や交流についても、Facebook等を活用し、効果を測っていく。

- 【目的】①近畿の団体、個人が出会い、学び合う場、連携のきっかけを提供する。
②団体の組織運営力の強化、個人のスキルアップを目指す。

【事業概要】地域の環境課題に取り組む活動団体に焦点を当て開催する。様々な団体、個人が分野、立場、世代を超えて集い、自らの啓発と活動の発展のために、自らの活動を「持続可能な社会・なりわい・暮らし」という観点で問い直し、活動を紹介し合い、語り合い、学び合うことを目指す。これからの社会を創る！そんな思いを胸に、ミーティングに集い、ネットワークを広げ、パワーアップする。

【実績】参加者数：102人・71団体（一般50人、会員35人、学生17人）
新規参加率：61%（前年46%）
宿泊者数：日帰り数=98人：4人（前年 宿泊者数：日帰り数=68人：11人）
学び合いの場として大変満足と答えた参加者10%アップ（前年42%→52%）
組織運営力や個人のスキルアップに関する満足度9%アップ（前年66%→75%）
Facebook「ささやまミーティング2020グループ」や自伐林業をめざす森林分野のSNSグループが立ち上がり、交流会終了後も継続した交流の場ができた。

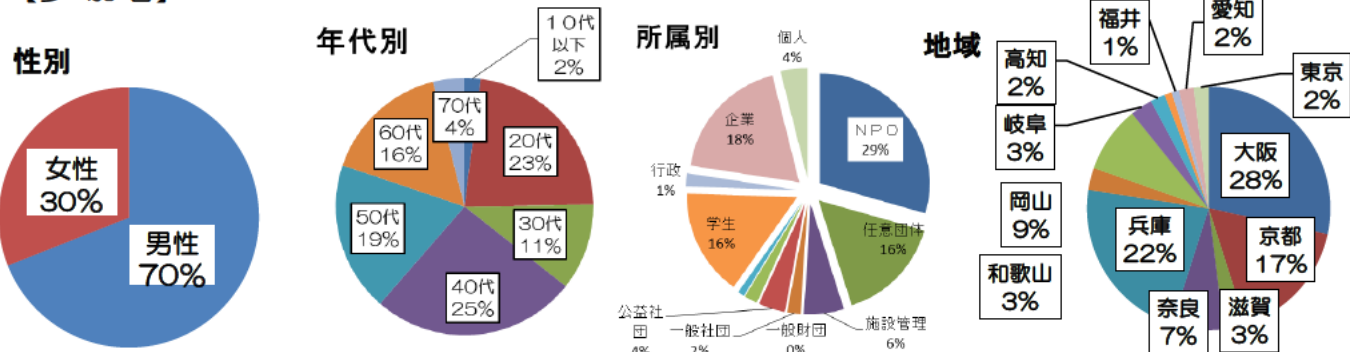
【実施日時】2020年2月14日（金）・15日（土）（1泊2日）

【実施場所】ユニトピアささやま（兵庫県丹波篠山市）

【対象者】農、林、自然、環境、教育、地域づくり、福祉等の市民活動実践者・運営者、企業、行政等の担当者、大学等の研究者、学生

【参加費】一般 12,000円、会員 11,000円、学生 8,000円

【参加者】



1.情報の 受発信・交流

- 【内 容】①オープニング、アイスブレイク
②事例紹介、全員参加パネルディスカッション
③活動発表 17枠 同時進行
④交流会
⑤分科会（5テーマ）、フリー分科会（3テーマ）
⑥ポスターセッション 7枠
⑦早朝オプションプログラム、ふりかえり
- 【主 催】NPO法人エコネット近畿 / 一般財団法人セブン-イレブン記念財団
【共 催】公益社団法人大阪自然環境保全協会
【企画・運営】ささやまミーティング 2020実行委員会
【後 援】大阪府、京都府、滋賀県、奈良県、兵庫県、和歌山県
関西SDGsプラットフォーム、ESD活動支援センター、近畿地方ESD活動支援センター
- 【協 力】パナソニックグループ労働組合連合会 休暇村 ユニピアささやま



全体写真



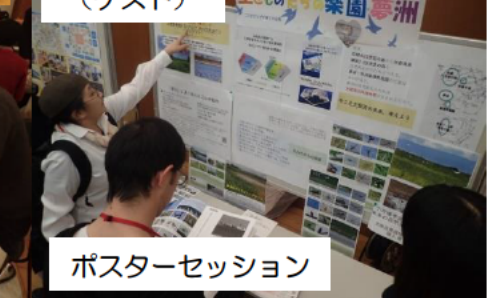
高田 研さん
(ゲスト)



早朝プログラム



フリー分科会



ポスターセッション

- 【課 題】・時間経過後の「連携」、「スキルアップ」など効果測定
・多様な分野、異なるセクターの参加・巻き込み

【収 入】3,504,019円（セブン-イレブン記念財団助成金、参加費、他）

【支 出】3,304,366円（消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、他）

【収支差額】199,653円

1.情報の
受発信・交流

- ・団体の活動を社会に認知される機会と場の提供。
- ・興味関心のある分野の情報について他の団体と交流する。

1-2 エコネット・カフェ（環境井戸端会議）の開催

エコネット・カフェの開催により、参加者のSDGsへの認知度が高まったとのアンケート結果だった。また、SDGsに関する問い合わせが増え、他団体の類似講座開講の協力もでき、SDGsの啓発に寄与できました。SDGsというテーマを合わせたので、2社4団体が情報交流会とエコネット・カフェの2つの事業に参加した。

【事業名】SDGsをもっと身近に！

【趣 旨】SDGsには、身近な環境や暮らしにおいて市民自らが取り組める目標が多くあるが、認知度は高くない。そこで、啓発活動の一環として、SDGs実践者によるゲームやワークを通して、参加者がSDGsの基本情報を知って、一人一人が関心を持ってつながり、社会の変容を導くアクションをおこしたり、意見交換することを目指す。

【対 象】SDGsに興味がある方、実践者、どなたでも

【会 場】大阪市立総合生涯学習センター 第7研修室または第8研修室

【開催時間】各回 19:00~21:00（第5回目のみ 19:00~21:30）

【実 績】参加者数 のべ77人（目標75人、事前申込者103人）



7/3 「マークに注目！！ 自然にやさしいおかいもの」

【講 師】市川晴子さん（天王寺動物園）

高坂悦子さん（元 天王寺動物園 教育普及担当）

【内 容】SDGs基本情報の紹介。日常の消費行動が、生態系や自然界にどのような関わりがあるか、環境認証マークを通して学んだ。

【実 績】参加者数 14人（目標15人）

企業や団体だけでなく、個人の暮らしもSDGsに直結することを実感していただき啓発セミナーとして成功。



8/7

「防災ゲーム ～住みつづけられるまちづくり～」

【講 師】平櫛 武さん（ひめじ防災ラボ&スタディ 事務局：キタイ設計株式会社）

【内 容】SDGs基本情報の紹介。防災意識を日常生活の中に織り込む『自分ごと』を大事にするため「なますの学校」「HUGゲーム」を体験。災害時の避難所でSDGsにどのように配慮すべきかを学んだ。

【実 績】参加者数 16人（目標15人）

企業、地縁組織など多様な主体の参加があった。



1.情報の
受発信・交流

9/4

環境トークバトルゲーム「がちかん」～環境を遊び×まなび＝∞

- 【講師】 NaLab. (ならぼ) 奈良女子大学
 【内容】 ESDとSDGsの関係などSDGsの基礎情報の紹介。
 奈良女子大学ならぼが開発した環境バトルゲーム
 「がちかん」を使って、参加者がグループディス
 カッション。
 【実績】 参加者数 20人 (目標15人)
 環境事業協会とのコラボ「おおさか環境市民大学の
 受講生も参加。



11/6

「SDGsの原点を振り返る ～ロールプレイで学ぶ公害～」

- 【講師】 栗本知子さん (あおぞら財団)
 【内容】 ESG投資や企業の関わりなどSDGsの基礎情報の紹介。
 街で公害が起きた時をロールプレイングの手法で体験。
 SDGsの理念「誰も取り残さない持続可能な社会」の
 実現を自分ごととして捉えた。
 【実績】 参加者数 12人 (目標15人)
 新規顧客の割合多い。企業、学生の参加増。



12/5

「SDGsカードゲームで体験しよう！」

- 【講師】 藤田美保さん (箕面こどもの森学園)
 【内容】 SDGsについての基礎情報の紹介のあと、カードを
 使って、寛容・社会・経済のバランスのとれた2030
 年を疑似体験。全5回のまとめとして、自分が取り組
 む「わたしのSDGs宣言」を発表。
 【実績】 参加者数 15人 (目標15人)
 環境分野だけではなく、男女共同参画や、他府県の
 中間支援組織等、その後セミナーが広がった。



- 【課題】 ・ 講座終了後、参加者が所属する企業や団体で、SDGsをテーマとした事業企画を
 示され、現在それぞれ選択されるテーマに沿って個別相談対応中
 ・ 対象顧客の認知度はセクターによっても異なり、内容を深めるには絞り込みも必要

【収入】 1,035,154円 (大阪市NPO市民企画助成委託事業費、参加費、他)

【支出】 1,064,558円 (消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、他)

【収支差額】 ▲29,404円

1.情報の
受発信・交流

1-3 ホームページ、メールニュース、Facebook等による情報発信・公開

前年度に比べ、アクセス数は減っているが、団体・行政・助成財団からの配信依頼は多く、情報提供の場としての役割を担っている。今年度はホームページを中心とした情報発信方法について、ビジョン委員会や理事会で話合われ、来年度のホームページや情報発信について、改善することとなった。

【目的】 支援する人・団体と支援を求める人・団体を「結ぶ」

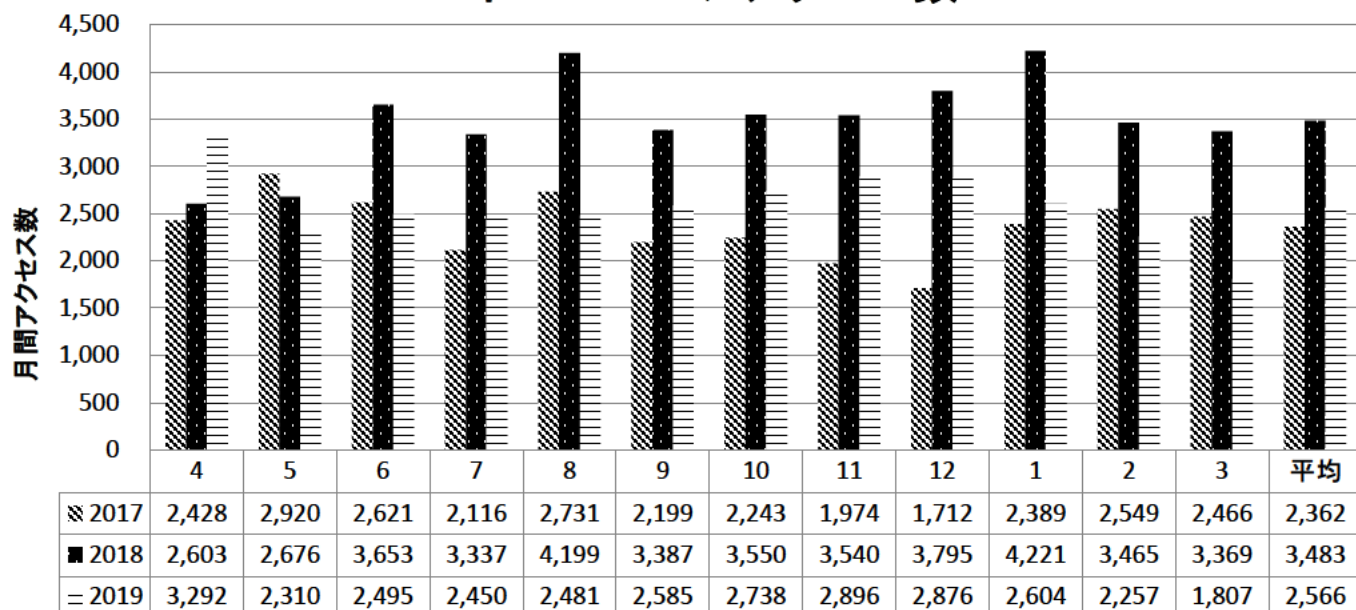
- ①行政、企業、研究機関、環境NPO間の情報発信・交流
- ②多様な環境活動情報の配信による、環境啓発
- ③会員団体の情報発信
- ④地域資源のリソースマッチング（人材、フィールド、資金等）

【事業概要】 環境NPO、行政、企業、研究機関、地域住民に対し、環境情報、イベント情報、助成金・補助金情報、ボランティア情報、会員のインタビュー記事等を配信

【実績】

- ・ホームページアクセス（閲覧者数）：平均 2539 アクセス/月
- ・メールニュースの配信 月2回 登録数：2007件
- ・会員メールの配信 随時 26号
- ・Facebookでの発信 随時 友だち 701人 フォロワー 745人
- ・Twitterでの発信 随時 フォロワー 644人

ホームページアクセス数



1.情報の
受発信・交流

1-4 各展示会への出展・活動紹介

展示会への出展や活動紹介、グループワークの参加を通して、口頭での団体PRや顔の見える関係の交流やネットワーク構築ができた。

- 【目的】①活動の広報および参加者交流
②環境活動の市民へのひろがりを目指す

- 【実績】・3会場（イベント）※3月参加予定のイベントは新型コロナウイルス感染拡大により開催中止
・エコネット近畿の事業と会員活動の紹介（イベントチラシの配架）

<第12回 水辺の匠おもしろステージ>

- 【実施日時】2019年 7月20日（土）・21日（日）
【実施場所】水のめぐみ館ウォーターステーション琵琶（滋賀県大津市）
【主催】ウォーターステーション琵琶の会
【内容】エコネット近畿 主催事業のパネル展示、当日運営スタッフとして参加
滋賀県立教育大学による琵琶湖の現状調査アンケートの実施協力

<2019年度近畿ESDフォーラム>

- 【実施日時】2020年 1月11日（土）
【実施場所】OMM(大阪マーチャンダイズ・マート) 201・202会議室
【主催】環境省近畿地方環境事務所、近畿地方ESD活動支援センター
【内容】エコネット近畿 主催事業のパネル展示、ささやまミーティングのPR

<大阪府環境パートナーシップ交流会 SDGs環境交流セミナー>

- 【実施日時】2020年2月2日（日）参加者 50人
【実施場所】エルおおさか 南1023号室
【主催】大阪府
【内容】エコネット近畿 活動紹介、ささやまミーティング紹介のプレゼン、
プレゼンタイトル
「環境中間支援組織NPO法人エコネット近畿の活動～これからの社会を創るために～」

- ・持続可能な社会の形成に向けた地域づくりを行うNPOに対し、活動支援となるセミナーを開催
- ・環境NPOや環境活動リーダー、運営スタッフのスキルアップ

2-1 第15回環境市民活動助成金セミナー「資金調達まるわかりセミナー」の開催中止

大型台風の接近により、参加者や関係者の安全を考慮し、開催を中止とした。参加予定者で資料希望者には、セブン-イレブン記念財団の助成により、無料で資料を送付し、助成金の申請や採択に至った団体もあった。希望があった助成財団には個別の助成金説明会を行ったり、情報交流会で助成金セミナーの一部を味わえる分科会を開催する等、できる限りのフォローアップを行った。

近畿では開催に至らなかったものの、姉妹団体である北海道市民環境ネットワークと地域の未来・志援センターと協働し、エコネット近畿が企画や助成財団との交渉の中心となることで、北海道と東海のセミナーに貢献し、定員を超える参加と質の高いセミナーの提供に貢献できた。

- 【目的】①環境活動団体が「助成金」をより効率的に活用できるよう情報を提供する
②志を同じくする助成財団と環境活動団体のより良いパートナーマッチングを目指す

【事業概要】参加団体の成長ステージにあわせ、助成申請に関する事務力向上や事務局のネットワーク構築の機会として、選択制の講座を助成金セミナーと同日に開催セミナー終了後も、個別相談などでフォローアップを行う

- 【実績】2019年10月12日に開催予定であったが、大型台風接近のため、開催中止となった
- ・申込者数 67人（定員50人を上回る申し込み）
 - ・地域別申込者数（大阪25人、京都10人、滋賀1人、奈良10人、兵庫14人、その他7人）
 - ・地域の間接支援組織からの申込者数 5団体（招待券含）

【収入】2,242,612円（セブン-イレブン記念財団助成金、協働事務手数料、他）

【支出】2,217,098円（消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、他）

【収支差額】 25,514円

2-2 資金調達に関するスキルアップセミナー 共感を呼ぶファンドレイジング

環境NPOや環境活動リーダー、運営スタッフのスキルアップをめざして企画したセミナーでしたが、国際団体や子ども支援等多様なテーマのNPOの運営スタッフの参加がみられた。環境ではないテーマの団体から、後日相談があり、大阪府の「太陽光発電事業支援プログラム」をマッチングを行うに至った。資金調達まるわかりセミナーの中止により、資金調達をさらに深める形には至らなかった。

- 【目的】①環境活動団体が「助成金」をより効率的に活用できるよう情報を提供する
②志を同じくする助成財団と環境活動団体のより良いパートナーマッチングを目指す

【事業概要】助成金セミナーの補完事業として位置づけ、資金調達についての考え方と設計についての情報提供とスキルアップを目指して頂く

【実績】参加者数 10人（目標数15人）
会員獲得数 1（団体・人）

【実施日時】2019年9月19日（木） 19：00～21：00

【場所】エコネット近畿事務所

【参加者】一般 1,000円、会員 500円

【講師】河合将生さん（NPOの家庭教師）

【内容】資金調達と共感の関係を考える
関係性を築く（内・外）、事業と運営の両輪
団体プレゼンワーク

【収入】243,635円（参加費、他）

【支出】248,072円（講師謝金、旅費交通費、他）

【収支差額】▲4,437円



2-3 マネジメントセミナー 「寄付チラシづくりのコツ」

講師の紹介により、『キッフ助成～「寄付チラシ」の作成支援助成』公募とタイアップし講座開催ができ、NPOにとっての新たな資源開発につなげることができた。マネジメントセミナー参加者が資金調達まるわかりセミナーの申込や情報交流会に発表者として参加する等、次の事業へ参加の促進につながった。

- 【目的】①近畿の環境団体の「組織運営力」のスキルアップによる活動の活性化
②組織において運営のコアな部分に関わるスタッフ育成

【事業概要】環境NPOが社会の変化に対応し、「事業計画」、「人材育成」、「資金調達」、「ニーズ分析」、「組織マネジメント」のほか「NPO会計」等の実務のスキルアップをめざしていただくためのワークショップ、講座を織り交ぜ体系的に実践力を養う

【実績】参加者数 11人（目標数15人）

【実施日時】2019年7月30日（火） 19：00～21：00

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【対象】スキルアップをめざす団体運営スタッフ

【参加費】1,000円（資料代、実費）

【講師】林田全弘さん（小さなNPOのためのデザイナー）

【内容】ミニレクチャーとワークショップ
講座終了後、質問への回答をフェイスブックで公開

【収入】246,135円（参加費、他）

【支出】247,031円（講師謝金、交通費、他）

【収支差額】▲896円



2-4 会員団体への会議室・備品の貸出

【事業概要】 会議室・備品の貸出などの支援により、少人数のセミナーを開催し活動を広めていただく機会と場を提供する。

会議室利用のご案内

エコネット近畿では、会議室の貸室を行っています。
環境に関する学習活動や、研修、会議の場としてご利用ください。



- 開館時間 ● 平日 9時30分～18時30分まで
- 受付電話 ● 06-6881-1133
- 受付時間 ● 平日 9時30分～18時30分まで
- 定 員 ● 18人 床面積 30㎡×1室

申込方法

- 1、電話にて、会議室の空き状況を確認してください。
- 2、使用目的と人数、時間帯をお知らせください。
- 3、2か月先までのご予約をお受けいたします。

会議室利用時間について

利用時間	平日 9時30分～18時30分（夜間は要問合せ）	・申請された使用時間内で準備・後片付けを行ってください。
正会員	無 料	・開館時間以外でご利用の際は、事務局にご相談ください。
賛助会員	無 料	・館内は禁煙となっておりますので、喫煙はしないでください。
一 般	ご利用いただけません	・期間により「冷暖房装置に係る加算額」を別途徴収する場合があります。

付属設備について

長机	6台	1、パソコンは、各自ご持参ください。 2、会議室は、WiFiをご利用いただけます。 3、施設・器具等を紛失したり、き損した時は、速やかに事務局に申し出てください。 なお、この場合、使用者に損害を賠償していただく場合があります。 4、左記以外に必要な設備はご相談ください。
椅子	18脚	
ホワイトボード（可動式）	1台	

湯沸かしポット	1台	
マグカップ	15客	
急須	1個	

お申込・お問合せ エコネット近畿 事務局

530-0041 大阪府北区天神橋2丁目北1-14
サンプラザ南森町 401

☎ 06-6881-1133

会議室貸出 68件

年月	回数	利用者数
2019年 4月	6	39
5月	5	46
6月	5	26
7月	9	58
8月	11	82
9月	4	26
10月	4	20
11月	3	26
12月	4	22
2020年 1月	3	16
2月	4	21
3月	10	84
合計	68	466

備品貸出 4件

備品（ごみハサミ）	3件 / 240本
大川クリーン活動&川で遊ぶ・つながる	100本
BLUE SANTA	40本
天神祭ごみゼロ大作戦	100本
その他の備品貸出件数	1件
オリーブフォーラム	スクリーン等

- ・近畿で環境活動を行うNPO、企業、行政のネットワークの構築支援
- ・環境活動における地域間、分野間の協働推進
- ・環境活動資源交流（人、モノ、資金、情報、マネジメント、専門スキル）

3-1 企業・行政・環境NPOの協働セミナーの開催

NPOと企業の連携・協働を具体的に進める目的で、「地域資源循環」をテーマに、1つの事例を5つのセクターから多角的に発表いただく方式の結果として、他の地域でも行政やNPO、企業といかに連携を進めていくか、外部から地域に入って交流人口の拡大をはかる注意点などが、具体的に示され、満足度が高かった。また、参加者が事例地域にかかわるか、または、同様の課題に取り組んでおり、短時間でも活発な意見交換・情報共有ができ、今後も関係を持っていく可能性が見られた。内容は充実していたが、汎用的な事例としてのうまく広報できなかった。

- 【目 的】 ①企業とNPO、行政の連携・協働事例から新しい協働のヒントを得ていただく
②企業とNPO、行政の協働を考える場、出会いの場を提供する
- 【事業概要】 企業や行政、地域の方に、環境NPOの活動を認知していただく機会として場を提供すると共に、潜在的な協働のニーズやウォンツを探る場とする
- 【実 績】 参加者数 17人（目標数30人）
会員獲得数 4（団体・人）
セミナー後、能勢、川西市の団体から連携相談があり、協働セミナー参加者を紹介
- 【テ ー マ】 のせでんアートライン2019に学ぶ協働の一步先！
「能勢」の地域資源循環
- 【実施日時】 2019年12月3日（火）13：30～16：30
- 【実施場所】 龍谷大学梅田キャンパス
- 【対 象】 協働に関心のある企業、行政、環境NPO



- 【内 容】 ①SDGsに関する情報提供
②のせでんアートラインの事例発表
③グループディスカッション
NPOと企業の連携・協働を具体的に進める目的で、「地域資源循環」をテーマに、地域を「のせでん沿線エリア」（川西市、猪名川町、能勢町、豊能郡）に絞り込んで開催1つの事例を5つのセクターから多角的に発表いただいた。

- 【参加費】 一般 3,000円、会員・学生 1,000円
- 【発表団体】 辻田卓也さん（能勢電鉄株式会社鉄道）
梶間千晶さん（大阪府池田土木事務所）
平田常雄さん（NPO法人大きな樹）
藤村滋弘さん（BEYOND BORDERS）
大森淳平さん（(有)OM環境計画研究所）
コーディネーター：藤田美保さん（真面こどもの森学園）
- 【後 援】 大阪府、近畿経済産業局、関西SDGsプラットフォーム

- 【収 入】 375,891円（参加費、他）
- 【支 出】 370,517円（消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、他）
- 【収支差額】 5,374円

企業・行政・環境NPOの協働セミナー
のせでんアートライン 2019に学ぶ
協働の一步先！「能勢」の地域資源循環

2019年12/3 火曜日 13:30-16:30 (13:00開場)

●会 場 龍谷大学 大阪梅田キャンパス117 (JR山崎駅南口徒歩10分、バス10分)

●参加費 一般 3000円、エコポイント還元券 (1000円) (学生・会員 1000円)

◎当日は、能勢電鉄沿線の各駅で協働事例発表の他に、沿線の各駅で「のせでんアートライン」の展示も行われます。ぜひ当日はご来場ください！

◎当日は、川西市・猪名川町・能勢町・豊能郡の各駅で「のせでんアートライン」の展示も行われます。ぜひ当日はご来場ください！

◎当日は、川西市・猪名川町・能勢町・豊能郡の各駅で「のせでんアートライン」の展示も行われます。ぜひ当日はご来場ください！

発表者
アート × 鉄道 × 地域
企業、行政、環境NPOの視点から深掘り！

特別出演
のせでんアートライン 2019
協働の未来
協働の未来を語る！

コーディネーター
藤田美保さん (真面こどもの森学園)

【お問い合わせ先】
事務局 龍谷大学 大阪梅田キャンパス117 (JR山崎駅南口徒歩10分、バス10分)
TEL: 06-6344-1111 (受付時間: 10:00~17:00) / FAX: 06-6344-1112
E-MAIL: info@ryugyu.ac.jp / <http://www.ryugyu.ac.jp>

主催 龍谷大学梅田キャンパス117 (JR山崎駅南口徒歩10分、バス10分) / 協賛 龍谷大学梅田キャンパス117 (JR山崎駅南口徒歩10分、バス10分)

- 近畿で環境活動を行うNPO、企業、行政のネットワークの構築支援
- 環境活動における地域間、分野間の協働推進
- 環境活動資源交流（人、モノ、資金、情報、マネジメント、専門スキル）

3-2 CSRのコーディネート

【目 的】 企業と環境NPOの協働を促進する

【事業概要】 環境活動を推進しようとする企業に対し、連携する環境NPOの紹介や環境活動へ助言や支援を行う。また、持続可能な環境活動のため地域資源の紹介やマッチングを行い、企業と環境NPOの交流をはかる。

【実 績】 イオンリテール株式会社からの依頼

イオンの店舗が地域の子供向けに環境をテーマに体験と学習を行うクラブ「チアーズクラブ」を実施している。そのクラブの年に1度の活動発表である近畿地区予選会、大阪地区予選会の2つの予選会の審査員を行う予定（3月22日）。今回はマッチングではなく、まずはこちらが審査員を行い、今後の展開を模索する。

近畿地区予選会はエコネット近畿とイオンの各都道府県の営業部長、大阪地区予選はエコネット近畿と他1団体(公益社団法人大阪自然環境保全協会)が市民団体として審査を行う。

→新型コロナウイルス感染症対策のため開催中止

※2017年度、同社から個別相談があり、事業に発展

3.コンサルティング

- ・持続可能な地域づくりを行う環境NPO、企業、行政に対し、各相談に応じ助言や紹介、支援を行う
- ・環境活動をすすめる際に必要な支援を受けたり、情報を入手できる場となる

4-1 個別相談への対応

今年度は昨年度に比べ、相談件数は大きく減少した。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、後半のイベント開催が減ったことも要因の一つと考えられる。

全体的な相談の傾向は変わらないが、今年度は事業の協力や研究の協力等、協働事業につながる相談がいくつか見受けられた。以前から関係性の深い団体やHPを見た企業から、エコネット近畿を知った上での、具体的な相談が出てきた。

相談をする方から、最初に無料で相談ができるのはいいが、更に具体的な相談をする際に、手数料を支払うほうが気兼ねなく相談できるという声もあるため、今後、メニューや料金の設定等を検討していく必要がある。

- 【目的】①環境NPOが抱える個別の課題に共に向き合い、解決への糸口を見出す
②団体内の課題を解決することで、活動の活性化を促す
③相談内容から共通課題を抽出し、支援事業を実施する

【事業概要】環境活動をしている団体、または、これから環境活動を始めたいと考える個人に対し、電話やメール、ファクス、来所にて随時相談を受け付ける。
また、各セクターが地域で環境活動を推進しようとする際に必要な情報を提供する。

【実績】対応件数：259件（昨年：432件）

- ・広報支援依頼：173件（昨年：230件）

イベント情報等メールニュース、ホームページへの掲載依頼、チラシの配架依頼

- ・資金調達についての相談：23件（昨年：55件）

		分類					
		任意団体	NPO団体	企業	市民	行政	助成財団
合計件数	259	12	180	11	17	22	17
比率		5%	69%	4%	7%	8%	7%
前年件数	432	75	203	31	41	49	33

		項目							
		ヒト	モノ	資金	情報	マネジメント	ノウハウ	専門性	協働
合計件数	259	17	5	23	173	5	10	16	10
比率		7%	2%	9%	67%	2%	4%	6%	4%
前年件数	432	176	24	55	230	14	18	19	26

		会員別					
		非会員	会員	個人正会員	団体正会員	個人賛助会員	団体賛助会員
合計件数	260	186	74	15	46	3	9
比率		72%	28%	6%	18%	1%	3%
前年件数	432	264	168	44	100	7	17

5.統一テーマ活動

- ・近畿の持続可能で豊かな社会の実現に向けて、地域や分野を越えて、個別団体の活動をつなげる

5-1 河川流域自然環境再生支援/クリーンアップ活動への協力

- 【目的】①環境啓発活動として地域と連携した一斉活動（一斉調査、一斉清掃等）を行う
②NPO活動の「見える化」と「活性化」
- 【事業概要】「きれいな水辺でつながろう～びわ湖・淀川クリーンアップ」をキャッチフレーズに、NPO活動の「活性化」、「見える化」を支援することで、広く市民に環境問題への気づきを広め、地域住民の生活環境の改善を図る。
地域で実施する一斉清掃に、ごみハサミの貸出や広報による協力を行ったり、Webサイト上に、クリーンアップ活動団体情報やイベント情報を掲載。
- 【実績】海ごみ関連の情報掲載
全国川ごみ拾いアンケート調査 広報協力
- 【実施日時】随時
- 【対象】近畿の河川流域で活動しているNPO・企業・行政・専門家および住民
- 【内容】Webサイトへの情報掲載

<HORIKAWA エコ☆スカ 2019>協力活動・運営委員会への参加

- 【日時】2019年12月14日（土）10:00～11:30
- 【実施概要】ごみ拾い、古着回収、クリスマスリースづくり、カフェ
・防災マップに書かれた10コースを、グループ4～5名で巡回
・ごみ拾いをしながら、避難場所や町内会掲示板の場所を知る
・古着回収（コミュニティ回収）で得た収益を地域に寄付
・カフェやクリスマスクラフト、当日抽選でグループ分けをし
・近隣住民のコミュニケーション不全の解消
- 【役割】エコネット近畿は、実行委員会副代表として企画
当日運営の協力、SNSによる広報、備品の貸出に携わる
- 【実績】参加者63人
大阪市北区長も参加し、他の地域での水平展開が期待できる
地域活動協議会と連携し、古着回収と寄付ができた
J:COM大阪中央ケーブルテレビで当日の様子が放送された
次年度以降他地域でも開催の予定
- 【実施場所】大阪市北区堀川小学校および堀川小学校区
（大阪府大阪市）
- 【主催】HORIKAWAエコ☆スカ実行委員会
- 【協力】堀川地域活動協議会、堀川連合振興町会、
堀川地区社会福祉協議会、堀川女性会、
堀川小学校、NPO法人エコネット近畿



- 【収入】120,378円（家電エコポイント寄付金、他）
- 【支出】150,930円（通信費、支払手数料、他）
- 【収支差額】▲30,552円

※詳細については、財務諸表の注記、用途制限のある寄付参照

6 その他 (他団体・行政との協働・連携・協力など)

＜他団体・行政との協働・連携＞

●環境助成サポートチームの起ち上げ

【概要】新型コロナウイルス感染拡大を受け、各地でイベントが中止になる中、助成を出している団体と受けている活動団体の双方の情報の整理と、よりより助成金制度確立のために、セブン-イレブン記念財団から助成を受けている3つの環境中間支援組織が協力し、チームを立ち上げた。

・助成団体への提案書の提出

2020年3月7日に91の環境活動に助成する助成団体に、助成金を受けている活動団体の困りごととその解決に向けた提案を記載した提案書を提出し、それぞれの助成団体の対応の返答を求めた。

・ホームページの開設

2020年3月7日に提案書を受け、助成団体がそれぞれの対応を返答したものを一覧として、掲載できるホームページを開設した。

・第1回WEB版助成サミットの開催

(新型コロナウイルス対策WEB会議)

【実施日時】2020年3月25日(水) 13:30~15:00

【内容】・助成活動団体へ対応、今後の助成金公募や採用時の配慮などの情報交換
・活動団体が新型コロナウイルス感染拡大化での課題、参考になる情報の共有

【参加助成団体】

- ・一般財団法人セブン-イレブン記念財団
- ・公益財団法人秋山記念生命科学振興財団
- ・独立行政法人環境再生保全機構
- ・認定NPO法人瀬戸内オリーブ基金
- ・トヨタ自動車株式会社「トヨタ環境活動助成プログラム」事務局
- ・認定NPO法人北海道NPOファンド
- ・公益財団法人北海道環境財団株式会社北洋銀行
(基金事務局として公益財団法人北海道環境財団が出席)
- ・株式会社ラッシュジャパン

【収入】186,555円(参加費、他)

【支出】179,755円(消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、他)

【収支差額】 6,800円

環境助成サポートチーム

このサイトに詳しくお問い合わせ

jyosei3@kitanet.org



<他団体・行政との協働・連携>

- 滋賀県立大学講師「琵琶湖流域の現状評価に関するアンケート調査」の協力（調査研究協力）
2019年7月3日～10月31日
イベント、会議室利用等でのアンケートの配布、回収
 - 一般財団法人環境事業協会・ネイチャー大阪共同企業体主催「おおさか市民環境大学」との連携
2019年8月10日～11月30日 参加者 26人
 - ・エコネット近畿主催の3つのセミナーが、修了認定の連携講座として参加者に紹介された（受講生はスタンプカードを持参、5つで「おおさか市民環境大学」修了認定）
 1. エコネット・カフェ「SDGsをもっと身近に！」2019年9月4日、11月6日
 2. 「共感を呼ぶファンドレイジング」2019年9月19日
 3. 「資金調達まるわかりセミナー」2019年10月12日（台風のため中止）
 - ・おおさか市民環境大学での団体紹介プレゼン、相談ブース開設
2019年12月14日 参加者 7人
 - 大阪府「万博とSDGs貢献に向けた環境・エネルギーの課題と提案に関する基礎情報検討調査」の受託
2019年9月～2020年3月
 - ・2025年の大阪万博に向けて、環境・エネルギーの新技术やアイデアの調査報告書作成
 - ・若者ワークショップの開催（全5回 2019年9月27日、11月6日、12月4日、12月23日、2020年1月21日）参加者 のべ98名
 - ・万博×環境 未来を描こうプロジェクト 報告会 2020年2月19日
（新型コロナウィルス感染症対策のため開催中止）
 - コスモ石油エコカード基金助成金説明会の協働開催
2019年11月22日13：00～15：00 参加団体 4団体
- <他団体への協力>
- 認定NPO法人瀬戸内オリーブ基金主催
「オリーブフォーラム～海ごみに関する連続講座～」への協力
2019年7月6日、8月3日、9月7日 参加者 のべ105人
広報協力、運営協力、備品貸出等
 - NPO法人木育フォーラム主催「木育・森育 近畿フォーラム 2019 in 京都」への後援
2019年10月4日、5日 参加者 91人（エクスカッション参加者含む）
 - 天神祭ごみゼロ大作戦実行委員会主催「天神祭ごみゼロ大作戦2019」への協力
2019年7月24日、7月25日 来場者数 130万人 ボランティア参加者 のべ980人
ボランティア募集等の広報協力

<他団体への協力>

- 一般社団法人NPO会計力検定協会主催「第2回 NPO法人会計力検定」への協力
2019年8月25日
広報協力、情報提供協力

<委員の委嘱、会議等への参加>

- 大阪府地球温暖化防止活動推進センター運営委員会委員の委嘱（年度末で退任）
会議日 2019年7月16日、2020年3月24日
会議構成員 15人
大阪府地球温暖化防止活動センター センター長 竹柴清二さん
大阪府環境農林水産部 環境政策監 中村大介さん
地方独立行政法人環境農林水産総合研究所 理事長 内山哲也さん
大阪大学 名誉教授 藤田正憲さん
NPO法人エコネット近畿 辻 郁子
大阪府みどり公社 事務局 7人
大阪府（オブザーバー） 3人

- 開発事業と連携して実施する環境活動等の推進に向けたワークショップ
2019年9月12日（木）9時～12時10分（2日目）に依頼にて参加
主催：環境省環境影響評価課

<他団体会報誌への寄稿>

- 公益社団法人大阪自然環境保全協会 会報誌『都市と自然 No.513 2019年4・5月号』
“ドイツで出逢った「大阪自然環境保全協会」の明日”を寄稿

1 役員等の数

- ・理事長 1人
- ・副理事長 3人
- ・理事 13人 ※都合により、任期途中の1月9日に1人理事が退任した。13人は退任後の理事数。
- ・監事 2人

2 2019年度総会の開催

【実施日時】2019年6月2日（日）13：00～16：00

【実施場所】大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター) 4階 大会議室3

【対象】エコネット近畿 正会員

【内容】審議事項

第1号議案	平成30年度	事業報告書	承認の件
第2号議案	平成30年度	活動計算書、監査報告	承認の件
第3号議案	2019年度	事業計画書(案)	承認の件
第4号議案	2019年度	活動予算書(案)	承認の件
第5号議案	2019年度	役員選任の件	

3 理事会の開催

第46回 定例理事会

【実施日時】2019年5月9日（木）19：20～22：00

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】11人（本人出席11人）

【内容】平成30年度事業報告書(案)、平成30年度活動計算書(案)、令和元年度事業計画書(案)、令和元年度活動予算書(案)、3ヵ年計画策定手順案、役員選任、総会内容案

第47回 定例理事会

【実施日時】2019年6月2日（日）14：05～14：10

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】14人（本人出席14人）

【内容】理事長および副理事長の互選

第48回 定例理事会

【実施日時】2019年6月22日（金）19：10～21：10

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】13人（本人出席13人）

【内容】年間スケジュールの確認、担当理事の決定、保険加入について

第49回 定例理事会

【実施日時】2019年9月26日（木）19：00～21：45

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】12人（本人出席 11人、書面表決 1人）

【内容】ホームページの刷新、行政等の委託事業の受託、3組織での今後の協働

3 理事会の開催

臨時理事会

【実施日時】2019年10月30日（水）19：00～21：30

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】11人（本人出席 10人、書面表決 1人）

【内 容】3ヵ年計画検討

第50回定例理事会

【実施日時】2019年12月16日（月）19：00～22：00

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】16人（本人出席 13人、書面表決 1人）

【内 容】2019年度活動計算書見込報告、3ヵ年計画（案）、3ヵ年活動予算（案）

第51回定例理事会

【実施日時】2020年2月20日（木）19：00～21：00

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】14人（本人出席12人、テレビ会議出席1人、書面表決1人）

【内 容】情報交流会報告、2019年度事業報告（案）、2019年度活動計算書見込報告、合同会議報告

4 ビジョン委員会の開催

2019年6月2日（日）総会時にビジョン委員会の起上げを公表、委員募集を開始した

以下の日程でエコネット近畿事務所にて、委員会を実施した

第1回 6月22日（土）10時～12時

第2回 7月27日（土）10時～12時

第3回 8月10日（土）10時～16時

第4回 9月28日（土）10時～12時

第5回 10月30日（水）19時～21時30分 ※臨時理事会と合同会議

第6回 12月1日（日）10時～12時

5 運営会議の開催

今期は、各事業とも実行委員会形式で運営し、運営会議として事務局から理事会全体に招集をかけることはなかった。

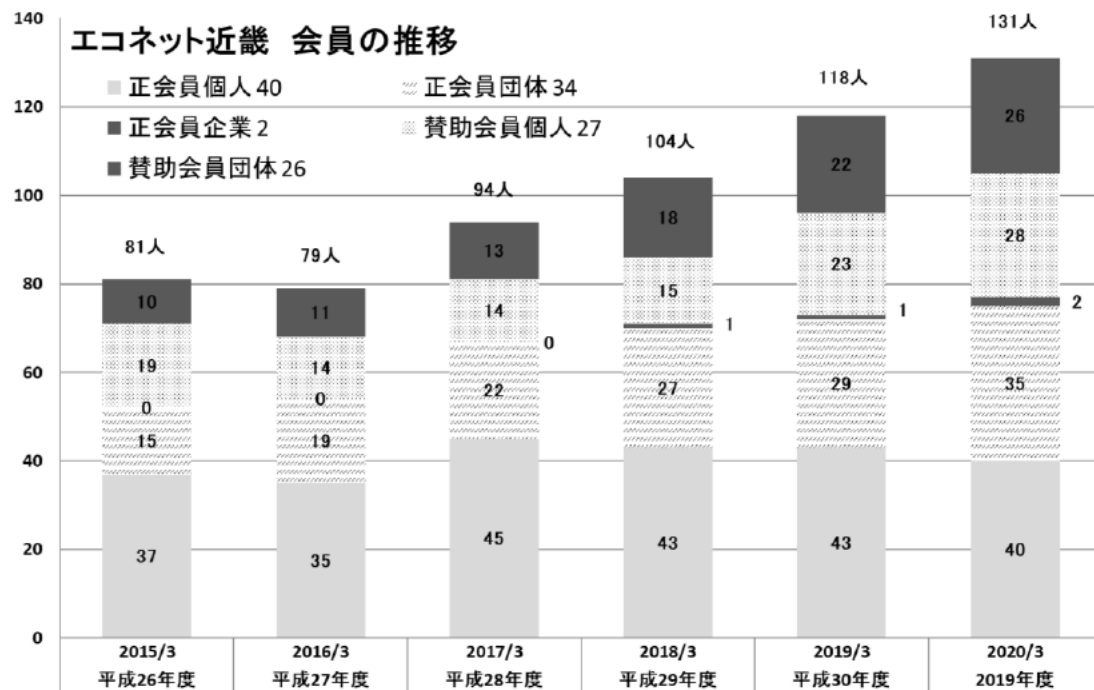
会員数の推移

会員数の推移

各市民団体が会員獲得に苦戦する中、今年度も21団体・人の新規会員が増えた（種別変更含む）。残念ながら退会者もいたため、最終的には13団体・人の増加となった。

会員特典をアピールして、会員を増やすという方針であったが、今年度は大きなキャンペーンを打ち出すことができなかった。しかし、イベント時のみならず、会員からの紹介や個別相談等から会員獲得につながった。


		2019年度期末		前年度比
会 員	正 会 員	団 体	35	6団体増
		個 人	40	3人減
		企 業	2	1企業増
	賛 助 会 員	団 体	26	4団体増
		個 人	28	5人増
		企 業	0	団体同数
合計（団体・人）		131	13団体・人増	



会員数の推移

【入 会】 2019年4月～2020年3月

- | | | | |
|-------|------|---|---|
| ●正会員 | (団体) | NPO法人 大阪府民環境会議
NPO法人 Gift
NPO法人 棚田LOVER' s
NPO法人 MSISK
NPO法人 豊中・伊丹環境政策フォーラム
一般社団法人 南太平洋協会
Rびんプロジェクト | 大阪府
大阪府
兵庫県
大阪府
大阪府
大阪府
大阪府 |
| ●正会員 | (個人) | 1人 | |
| ●正会員 | (企業) | 株式会社 ソイルワーキングス | 大阪府 |
| ●賛助会員 | (団体) | NPO法人 地域の未来・志援センター
NPO法人 兵庫森林サポートセンター
森と畑のようちえん いろは
公益財団法人 大阪みどりの森トラスト協会 | 愛知県
兵庫県
大阪府
大阪府 |
| ●賛助会員 | (個人) | 8人 | |



NPO法人エコネット近畿

(特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター)

〒530-0041




大阪市北区天神橋2丁目北1-14 サンプラザ南森町401

TEL : 06-6881-1133

FAX : 06-6949-8288

E-mail : jimukyoku@econetkinki.org

URL : <http://econetkinki.org>





2020年度 事業報告書

2020年4月1日から 2021年3月31日まで

特定非営利活動法人
近畿環境市民活動相互支援センター
(略称：NPO法人エコネット近畿)

もくじ

事業期間	1年のまとめ	2
1.	つながる場のデザイン	3
	・1-1 暮らしまるごとSDGs（第16回エコネット近畿情報交流会）の開催	
	・1-2 助成サミットの開催	
	・1-3 中間支援連携（全国市民連携環境ミーティング）「みんなで話そう」の開催	
2.	団体・人材育成	7
	・2-1 NPOのための資金調達まるわかりセミナー（第16回助成金セミナー）の開催	
3.	情報の発信	9
	・3-1 ホームページ、メールニュース、SNSによる情報発信・公開	
	・3-2 各展示会への出展	
4.	コンサルティング・コーディネート	11
	・4-1 個別相談業務	
5.	統一テーマ活動	12
	・5-1 河川流域自然環境再生支援「プラスチックごみゼロシンポジウム」の開催	
	・5-2 河川流域自然環境再生支援「河川等清掃活動に係る交流会」の開催	
6.	新規事業	14
	・6-1 「コーディネーターファーム」	
7.	その他	15
	・7-1 その他（他団体との連携・協力など）	
運営体制		16
会員の推移		18

事業期間

2020年4月1日～2021年3月31日

1年のまとめ

2020年度は、世界的な新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の出来事と、日本における1回目の緊急事態宣言の発令の対応から始まった。2019年度に議論して決めた新ビジョン、3年後のビジョンを掲げながらも、大きく社会が変化する中、緊急のニーズだけでなく、5年後、10年後を見据えて、どういった中間支援を行うことが、持続可能な地域を生み出せるのかを、必死で考えた1年となった。

基幹事業である助成金セミナーはオンラインを活用し、昨年度に引き続き姉妹団体である北海道市民環境ネットワークと地域の未来・志援センターと協働しながら、規模の拡大を図り、33都道府県177人の参加者を得ることができた。情報交流会は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、対面とオンラインの併用予定から、完全オンライン開催へと変更したため、実行委員会は解散し、3月にSDGsと暮らしをテーマに開催した。2つの基幹事業とは別に始めた新規事業は、地域の未来・志援センターというパートナーや、地域とテーマのパートナーを得て、2021年度から、本格的に動き出す準備が整った。また、助成サミットと中間支援連携では、全国の環境活動の助成財団の交流の場や全国の分野横断での市民社会の交流の場を開催・運営することができた。

財政面では、新型コロナウイルスの影響で、事業収入が減っているところが多い中、行政や企業からの協力依頼を受け、また、自主事業でも参加者人数の拡大や録画視聴参加等の新しいシステムを導入し、次年度事業に活用できる収入を確保することができた。また、金額だけでなく、収入源が多様になったことも、非常によい傾向にある。

組織面では、職員は事業の拡大等に応じて増員を行い、研修やOJTを充実することで、職員一人ひとりのスキルアップを図ることができた。また、アルバイトやインターンシップとして、新型コロナウイルスの影響で、留学が取りやめになった大学院生や、体験型の活動が減っている大学生を受入れ、活力のある若者に学びの場を提供した。

新3カ年の1年目となる2020年度だったが、新型コロナウイルスの影響により、事業の計画変更にも追われ、充実した話し合いの場を開き、計画通りに物事を進めていくということが非常に難しい年だった。しかし、世界が大きく変化する中、当初の計画に縛られることなく、多くのリサーチとヒアリングを行う中で、今とは違うエコネット近畿の在り方も見えてきた。また、オンラインでのセミナーや交流会では、たくさんの挑戦を重ねることで、今後環境活動をオンラインを使って広げていく支援ができる技術を得ることができた。

とはいえ、新たな環境の中間支援組織に生まれ変わるためには、新規事業にもっと多く時間や労力、知恵を出す、必要性がある。2021年度は持続可能な地域を更に支えられる団体になれるよう、また、それを発信できる団体になれるよう、更なる邁進が必要である。

1.つながる場のデザイン

ニーズ・シーズに合ったつながる場をデザインする



1-1 暮らしまるごとSDGs（第16回エコネット近畿情報交流会）の開催

- 目的 ①近畿の団体、企業・行政の人が、改めて自らの活動のあり方について考えるきっかけを提供する
②日本全体の大きな動き、国際的な動き、ローカルな動きを一緒に聞くことで、それぞれの立ち位置とつながりを暮らしの中に見出す

8月から実行委員会を設け、企画等の準備を進めていたにもかかわらず、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、対面での情報交流会の開催を諦めることとなった。併せて、同じ運営体制でのオンライン開催が難しいとの判断で実行委員会を解散し、事務局中心で企画、運営を行った。

準備期間が短い事業となったため、本来のエコネット近畿情報交流会らしさを発揮することは難しかったが、分野、立場、世代を超えたオンラインでの参加型交流会を通して、当初予定していた活動や地域の課題解決のヒントを得る場の提供ができた。さらに、オンラインならではの特徴を活かすべく、現地取材映像の編集、配信や交流会終了後に録画映像の有料配布を行う等、様々な試みを行うことができ、次年度の活動につながる貴重な交流会となった。

【事業概要】 「暮らし」をテーマに、様々な団体、企業、行政の方が、分野、立場、世代を超えて集い、これからの未来を考える。オンラインツアーのような体験として、登壇者のフィールドを取材し映像を配信し、オンラインならではの良さを伝えた。

【実績】 参加者数：67名 ※その他：24名（スタッフ、講師・発表者）
オンラインの特性を活かし、現地取材をして3件の動画を編集・配信。
オンラインファシリテーションの実施。
交流会後、発表者・講師紹介の問合せ：1件

【実施日時】 2021年3月12日（金）14：00～17：30
13日（土）13：30～17：00

【実施場所】 オンライン開催（Zoomミーティング）

【対象者】 農、林、自然、環境、教育、地域づくり、福祉等の市民活動の実践者・運営者、企業、行政等の担当者、大学等の研究者、学生

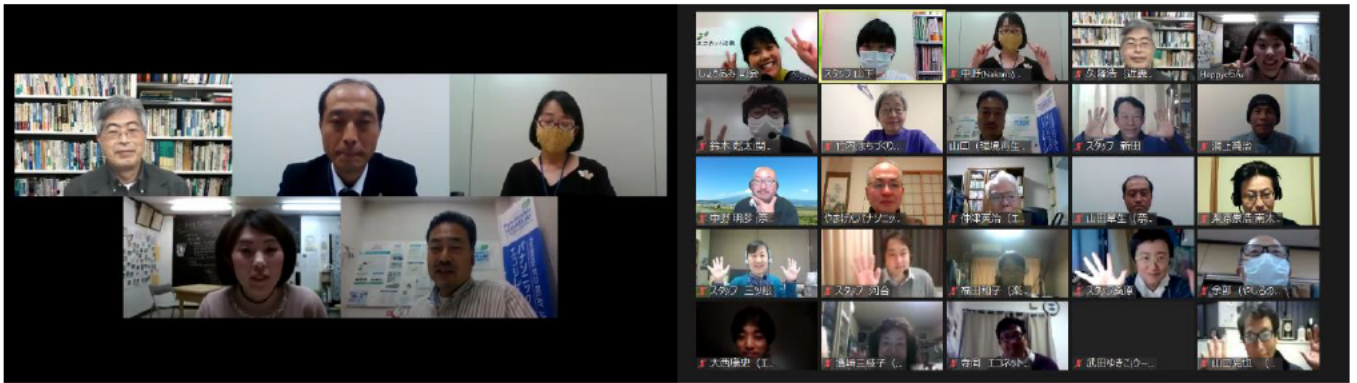
【参加費】 一般1日：2,000円、一般2日通し：3,500円
会員1日：1,200円、会員2日通し：2,000円
実行委員等1日：800円、実行委員等2日通し：1,000円

【主催】 NPO法人エコネット近畿
【協力】 NPO法人地域の未来・志援センター、NPO法人泉京・垂井
【後援】 関西SDGsプラットフォーム、近畿地方ESD推進センター、関西広域連合

1.つながる場のデザイン

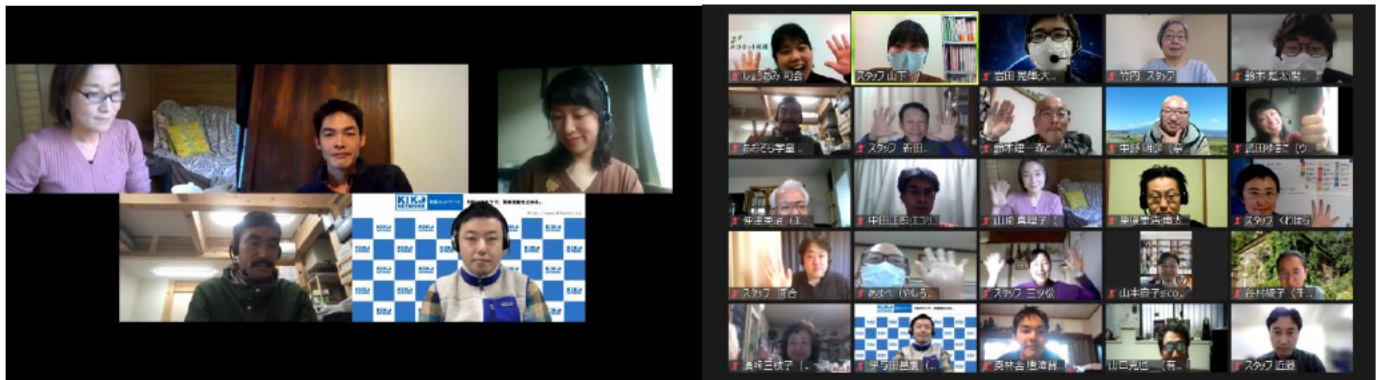
【内 容】1日目「暮らしが豊かになるお金やコト循環」

- ①講演、感想共有
- ②活動発表（4名）、感想共有、質疑応答
- ③パネルディスカッション
- ④グループディスカッション



2日目「暮らしに木材を！」

- ①講演、活動発表
- ②感想共有、質疑応答
- ③パネルディスカッション
- ④グループディスカッション



【収 入】1,133,183円（セブン-イレブン記念財団助成金、参加費、他）

【支 出】1,127,062円（諸謝金、会議費、旅費交通費、通信運搬費、消耗品費、他）

【収支差額】 6,121円

ニーズ・シーズに合ったつながる場をデザインする

1-2 助成サミットの開催

- 目的 ①助成財団同士の情報交流の場の提供
②助成財団とのネットワーク強化

昨年度に開催した助成サミットに引き続き、姉妹団体である北海道市民環境ネットワーク、地域の未来・志援センターとともに「環境助成サポートチーム」として、3回にわたり企画、運営を行った。今年度は、新型コロナウイルスによる環境活動団体への影響やコロナ禍で加速する社会変容の中で求められる助成の在り方を中心に、助成財団とのネットワーク強化や中間支援の協力・サポートの仕方について議論する場を設けた。

計画通り、2-1の事業である「NPOのための資金調達まるわかりセミナー（第16回助成金セミナー）」と連携させ、セミナー登壇者を1回分無料招待し、両事業の相乗効果をはかったが、準備の関係でサミットの広報時期が遅くなったこともあり、登壇した財団のうち半数は参加しなかった。アンケート結果をもとに、開催時期の検討等の工夫を行う必要がある。

【実績】参加者数：延べ43名（全13団体）

【参加財団】※団体名50音順

公益財団法人秋山記念生命科学振興財団

独立行政法人環境再生保全機構「地球環境基金」

特定NPO法人ぎふハチドリ基金

コスモエネルギーホールディングス株式会社「コスモ石油エコカード基金」

コミュニティ・ユース・バンクmomo

公益財団法人自然保護助成基金

特定NPO法人瀬戸内オリーブ基金

TOTO株式会社「TOTO水環境基金」

トヨタ自動車株式会社「トヨタ環境活動助成プログラム」

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

阪急阪神ホールディングス株式会社「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」

公益財団法人北海道環境財団

公益財団法人りそなアジア・オセアニア

【実施日時】2020年9月2日（水）、12月18日（金）、2021年3月16日（火）

【実施場所】オンライン開催（Zoom）

【対象者】環境活動支援に取り組む助成財団

【内容】講師による話題提供／助成財団による活動発表、全体ディスカッション、情報交流

【主催】NPO法人エコネット近畿、NPO法人北海道市民環境ネットワーク、NPO法人地域の未来・志援センター

【収入】487,125円（参加費、他）

【支出】454,525円（諸謝金、他）

【収支差額】32,600円

1-3 中間支援連携（全国市民連携環境ミーティング）「みんなで話そう」の開催

- 目的 ①全国の分野横断型のネットワークの構築により、市民社会を強化する
②様々な分野の団体に、ベースとなる環境の重要性を認識してもらう

姉妹団体である北海道市民環境ネットワーク、地域の未来・志援センターと協働し、企画・運営を行った。

全国の中間支援的活動に携わる方を集め、オンラインを活用し、分野横断の中間支援組織を集め意見交流の場を提供した。講師として、NPO法人泉京・垂井の神田浩史氏を招き、コモンズ（社会的共通資本）に着目しながら、これからの日本に必要なアクションや活動を後押しするネットワークの機能や役割について話し合った。

北海道から沖縄まで、29団体に関わる方が参加した。環境団体の呼びかけによる集まりに、中間支援団体の方々に、改めて環境の重要性を考えてもらう機会となった。

【実績】参加者数：23名

【実施日時】2020年6月11日（木）14：00～16：00

【実施場所】オンライン開催（Zoom）

【対象者】様々な分野の中間支援組織、ネットワーク組織

【内容】市民社会縮小の問題、市民社会を活性化するために何をしたらよいかを話し合う

【収入】414,525円（参加費、他）

【支出】416,525円（諸謝金、賃借料、水道光熱費、他）

【収支差額】▲2,000円

2. 団体・人材育成



環境NPOや運営スタッフの運営力向上を支援する

2-1 NPOのための資金調達まるわかりセミナー（第16回助成金セミナー）の開催

- 目的 ①環境活動団体への資金調達情報と運営支援情報の提供による、環境活動の促進
②環境活動支援に取り組む助成財団、サービスと活動団体とのマッチング
③中間支援組織・活動団体を支援する企業とのネットワーク構築・強化

今年度は、昨年同様、姉妹団体である北海道市民環境ネットワークと地域の未来・志援センターと連携し、開催した。活動団体の成長ステージに対応できるように、多数の財団による助成金制度発表、助成金の基本的な選び方や書き方のワークショップ、最新の資金調達情報、運営支援情報を提供するセミナーを開催した。

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、オンライン中心の開催に転換し、団体施設のある北海道、東海、近畿の3地域だけでなく全国の活動団体を参加対象として、3地域同日開催となった。広報の担当地域を3団体で振り分け、広範囲への声掛けを行ったことにより、33都道府県から参加者を集めることができた。

一方で参加人数の多い中でのオンラインは、マッチングやフォローアップが難しいということが、明らかになった。目的達成に向けては、今後、イベント参加者に中間支援の活動や相談業務のPRを行い、団体、財団の個別の資金調達に関する課題解決のフォローアップが必要である。また、活動を支援する企業とは助成サミットで関係性が作れたものの、中間支援連携に参加した団体とセミナーを連動させることはできなかった。事業と事業を連動させて実施することで、より効果のある事業展開をめざす必要性がある。

【事業概要】参加団体の成長ステージにあわせ、助成申請に関する事務力向上や事務局のネットワーク構築の機会として、選択制の講座を助成金セミナーと同日に開催した。セミナー終了後も、個別相談などでフォローアップを行う。

【目的】①多様な「資金調達法」についての最新情報を得て理解を深める
②持続可能な経営のために、個々の団体に適した資金調達法を見出す機会とする

【実績】参加者数：177名
（オンライン：123名、北海道会場：15名、録画視聴等：39名）
助成財団参加 全国：7団体、近畿圏：2団体、中部：2団体、北海道：3団体
会員獲得数：1団体・人
参加者満足度 5段階評価で4～5点：85.3%（昨年中止、一昨年：39%）

【実施日時】2020年10月4日（日）10：00～16：30

【実施場所】オンライン開催（Zoom）
※別会場として、北海道会場（北海道自治労会館）

【対象者】資金調達に関心のある環境NPO、任意団体・個人、NPO支援に関わるスタッフ

【参加費】一般 1,000円、主催団体会員 500円
助成財団参加費 100,000円/団体

【内容】①新しい資金調達の流れと助成金申請書の書き方講座
②地域限定の助成金制度説明（4部屋：北海道、中部、近畿・瀬戸内、相談会）
③全国対象の助成金制度説明
④グループ質問会/個別相談会（北海道会場）

2. 団体・人材育成

【登壇者】〈全国〉

公益財団法人河川財団、独立行政法人環境再生保全機構、公益財団法人コメリ緑育成財団、一般財団法人セブン-イレブン記念財団、公益財団法人SOMPO環境財団、TOTO 株式会社、トヨタ自動車株式会社

〈北海道〉

一般財団法人前田一步園財団、公益財団法人北海道新聞野生生物基金、公益財団法人北海道環境財団

〈中部〉

コミュニティー・ユース・バンクmomo、一般財団法人中部圏地域創造ファンド

〈近畿・瀬戸内〉

認定NPO 法人瀬戸内オリーブ基金、阪急阪神ホールディングス株式会社



【主催】 NPO法人エコネット近畿、NPO法人北海道市民環境ネットワーク、NPO法人地域の未来・志援センター

【協賛】 一般財団法人セブン-イレブン記念財団

【後援】 ESD 活動支援センター、北海道地方 ESD 活動支援センター、東北地方 ESD 活動支援センター、関東地方 ESD 活動支援センター、中部地方 ESD 活動支援センター、近畿地方 ESD 活動支援センター、中国地方 ESD 活動支援センター、四国地方 ESD 活動支援センター、九州地方 ESD 活動支援センター

【収入】 2,088,756円（セブン-イレブン記念財団助成金、参加費、他）

【支出】 1,788,503円（諸謝金、旅費交通費、通信運搬費、消耗品費、賃借料、他）

【収支差額】 300,253円

ネットワークや活動が見える、活用できるホームページを作る

3-1 ホームページ、メールニュース、SNSによる情報発信・公開

- 目的 ①人的資源、ネットワークを見せることで、中間支援としての信頼獲得
 ②他団体、行政、企業の広報協力を行うことで、環境活動の促進支援
 ③会員やつながりのある団体とのネットワーク強化

ホームページの刷新を予定していたが、緊急事態宣言の発令により事業全体のスケジュールが後ろ倒しになったことにより、イベントや委託事業等の準備・運営に時間が割かれ、刷新することができなかった。ホームページの刷新は、来年度に延期する。

今年度はホームページを中心に、メール、SNS（Facebook、Twitter）で情報発信を行った。広報効果を上げるために、閲覧数増加を見込んでFacebookの有料広告を試行したが、大きな効果はなかった。前年度に比べ、ホームページアクセス数が減少していることを踏まえ、現在使用しているツールの使用を継続しながら、会員や対象者が活用しやすく、より効果的な方法に改善をすすめる。

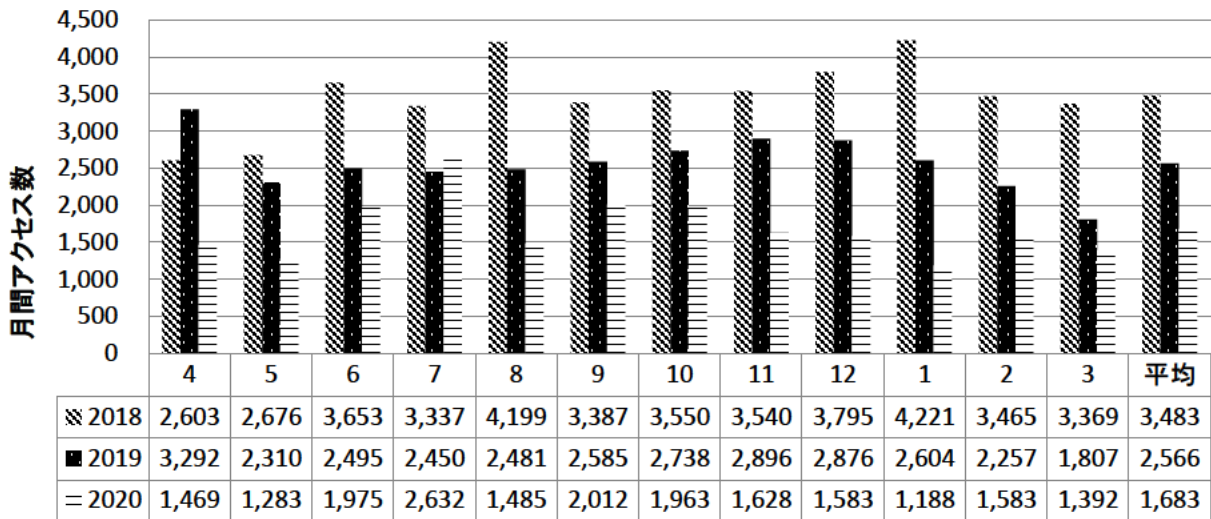
<発信情報>

- ・イベントやセミナーの案内、報告 ・環境情報 ・助成金情報 ・NPO運営に必要な情報等

<ツール、配信頻度、配信件数> ※2021年3月31日現在

- ・メール メールニュースの配信 月2回 配信数：1,780件
- ・メール 会員メールの配信 随時
- ・SNS Facebookでの発信 随時 フォロワー 779人
- ・SNS Twitterでの発信 随時 フォロワー 667人

ホームページアクセス数



3-2 各展示会への出展

目的 テーマに応じたネットワーク構築

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催が予定されていた出展イベントの多くが開催中止、またはオンライン開催に変更となった。出展を検討していたイベントも開催中止、パネル展示無しでのオンライン開催となったため、今年度は展示会の出展を行わなかった。

<第31回北区民カーニバル> ※開催中止

【日 時】2020年10月20日（日）

【場 所】扇町公園／扇町公園東側入口（大阪市北区扇町1）

【主 催】北区民カーニバル実行委員会／北区役所

<近畿ESDフォーラム2020年度> ※パネル展示無し

【実施日時】2021年1月9日（土）10：00～15：20

【実施場所】オンライン開催（WEB会議システムを使用）

【主 催】環境省近畿地方環境事務所、近畿地方ESD活動支援センター

4.コンサルティング・コーディネート



エコネット近畿が持っている人材、ネットワークを活かす

4-1 個別相談業務

- 目的 ①環境情報の提供、活動の課題解決による環境活動の促進
②ニーズに合わせた情報提供・広報協力・課題解決による信頼の獲得

今年度は、昨年度に比べ、相談件数が大きく減少した。新型コロナウイルス感染症の影響や緊急事態宣言の発令により、活動ができていない団体があることが要因の一つと考えられる。全体的な相談の傾向は変わらないものの、今年度はイベントや会議のオンライン転換により、WEB会議システムや機材、運営方法についての相談が多くみられ、今後は配信機器の貸出や配信の手伝いも需要があると考えられる。

相談業務の効率アップと多様な相談内容に対応するべく、オリジナルの環境相談フォームの作成を行う予定だったが、ホームページの刷新ができず、相談フォームの作成も進められなかった。さらに、より専門的な相談やニーズに対応するために相談業務の一部有料化として「助成金相談キャンペーン」を試行的に実施したが、件数が少なかった。相談フォームの作成と併せて、どのような相談ができるかが分かりやすい支援メニューや広報ページの作成を検討する必要がある。

【概要】環境活動をしている団体や個人、または、これから環境活動を始めたいと考える方を対象に、電話やメール、ファクス、来所にて随時相談を受け付ける。
また、各セクターが地域で環境活動を推進しようとする際に、必要な情報や専門知識、ノウハウの提供を行う。

【実績】対応件数：121件（昨年：259件）※相談件数や内容詳細は、以下の表に記載。
会員限定「助成金相談キャンペーン」の実施（7月～8月 ※10月末まで延期）
＜キャンペーン価格＞1,000円/回
＜相談件数＞助成金探し：2件、申請書のアドバイス：2件

		分類					
		任意団体	NPO団体	企業	市民	行政	助成財団
合計件数	121	3	43	34	11	21	9
比率	100%	2%	36%	28%	9%	17%	7%
前年件数	259	12	180	11	17	22	17

項目							
ヒト、モノ	カネ	情報	マネジメント	ノウハウ	専門性	協働	その他
6	7	76	11	6	13	0	2
5%	6%	63%	9%	5%	11%	0%	2%
22	23	173	5	10	16	10	-

会員別						
非会員	会員	個人正会員	団体正会員	企業正会員	個人賛助会員	団体賛助会員
83	38	8	27	1	1	1
68.6%	31.4%	6.6%	22.3%	0.8%	0.8%	0.8%
186	74	15	46	-	3	9

5.統一テーマ活動



5-1 河川流域自然環境再生支援 「プラスチックごみゼロシンポジウム」の開催

目的 自然再生やクリーンアップ活動の取組みを通しての協働の促進

今年度は、河川等のごみ問題に注目が集まり、5.統一テーマ活動と6.委託事業を合わせた事業として、「プラスチックごみゼロシンポジウム」と「河川等清掃活動に係る交流会」を開催した。

「プラスチックごみゼロシンポジウム」はアインズ株式会社より協力依頼を受けて、同社が関西広域連合から委託されたプラスチックごみゼロに向けた啓発活動等の推進業務のうち、エコネット近畿が得意とするシンポジウムの開催の運営協力を行った。

企画当初は、対面とオンラインのハイブリッド開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、オンラインのみの開催に変更し、WEB会議システムZoomウェビナーでの開催となった。

アンケートでは、個人や団体・企業としてプラスチックごみ削減のための具体策や実践につなげたいという声が多く、満足度が高かった。基調講演の講師や主催団体との関係も築くことができ、今後も関係を深め、協働していく可能性がみられた。

【目的】プラスチックごみについての最新の動向を伝えることで、事業所や家庭における3Rの取組をより促進する

【実績】参加者数：255名

【実施日時】2020年12月24日（木）13：30～16：30

【実施場所】オンライン開催（Zoom）

【対象者】関西地域の住民、事業者、NPOや社団法人などの団体・組織、教育関係者、行政

【内容】①基調講演
②事例紹介（リユース食器の活用、給水スポットの拡大）
③関西広域連合プラスチック対策検討会の調査事業報告
④交流会

【主催】関西広域連合

【収入】2,137,342円（協力金、エコポイント）

【支出】1,805,024円（諸謝金、通信運搬、消耗品費、賃借料、旅費交通費、他）

【収支差額】332,318円



主催 関西広域連合



5.統一テーマ活動



5-2 河川流域自然環境再生支援 「河川等清掃活動に係る交流会」の開催

目的 自然再生やクリーンアップ活動の取組みを通しての協働の促進

近年、プラスチックごみへの関心が世界的に高まっていることや「関西プラスチックごみゼロ宣言」を踏まえて、研究及び自ら実践を行う大阪商業大学の原田禎夫氏を講師として招き、基調講演を行い、近畿で実践を行っている5団体の活動発表も行った。また、参加者同士がオンラインで交流できるような工夫を行った。

アンケート結果では、回答者全員が、交流会によりプラスチックごみに関する知識や他団体の情報を得たことで、環境活動に取り組む意識が高まったと回答した。

交流会当日は登壇者を会場に集め、登壇者の発表や会場の様子をオンラインで参加者にリアルタイムで配信するという当団体初の対面とオンラインの並行運営を試みた。スタッフ人数が少なかつたため、発表中のトラブル対応のために数分間の調整時間をとったが、予定時間通りの進行ができ、今後のイベント運営につながる交流会となった。

【目的】 関西の各地域の環境保全活動団体が、それぞれの取組紹介、課題の共有、意見交換等を行う交流会を開催することにより、団体相互の協力関係を構築し、個々の活動を面的に広げ、関西全体で環境保全に向けた意識の向上を図る

【実績】 参加者数：32名

【実施日時】 2020年11月14日（土）13：30～16：30

【実施場所】 オンライン開催（Zoom）

【対象者】 河川等清掃活動をしている市民団体

【内容】 ①基調講演
②活動紹介（市民団体5団体）
③パネルディスカッション
④交流会

【主催】 関西広域連合

【収入】 1,600,418円（委託費、他）

【支出】 1,555,682円（諸謝金、広告費、旅費交通費、水道光熱費、他）

【収支差額】 44,736円



6.新規事業



6-1 「コーディネーターファーム」

目的 持続可能な地域を創るためのコーディネーターの育成

当初は「地域課題の現場」と「課題解決をしたい人」をマッチング、サポートする人材育成事業を新規事業として考えていたが、大阪府豊能町でのコーディネーターのプロタイプの模索や、様々な人へのヒアリング、オンラインミーティングを通して、人材育成だけをしているだけでは未来を拓けないという結論に至った。

人材を育成しても、その人たちが活躍して働く地域、収益となる事業、地域が持続可能に回っていくための小規模での中間支援的な場を創ることができなければ、持続可能な地域とそこで働く生き生きとした人々を支えられない。また、資金調達も重要で、助成金のみならず幅広い形での活動開始時の資金調達、活動の収益事業化、発展時の資金調達等、地域を持続可能にしていくためのトータルマネジメントをエコネット近畿ができるようになることが必要だということが分かった。

新規事業の展開にあたっては、姉妹団体である地域の未来・志援センターとタッグを組み、モデル地域の創出にあたっては奈良で活躍している一般社団法人大和森林管理協会等との事業推進、地域材公共建築推進・エネルギー事業では森と未来子ども会議等との連携、ローカルESG勉強会ではコミュニティ・ユースバンクmomo等との協力を得て、地域の方やその分野に強い団体と共に事業を展開していくことになった。

ヒアリング 林業（3回）、エネルギー（1回）木造化（3回）、漁業（2回）、
奈良ヒアリング（8回）、行政・企業等（3回）、地域経済（2回）
調査 林業就業セミナー参加、漁業就業セミナー参加
勉強会 林業（3回開催、2回参加）・木造化（4回参加）・農業（4回参加）・
地域経済（7回参加）・エネルギー（1回参加）
大阪府豊能町5月～10月 コーディネーターヒアリング

【収 入】 2,562,603円（セブン-イレブン記念財団助成金）

【支 出】 2,562,603円（人件費、賃借料、水道光熱費他）

【収支差額】 0円



7-1 その他（他団体との連携・協力など）

＜他団体との協働・連携＞

●一般財団法人環境事業協会・ネイチャー大阪共同企業体主催「おおさか市民環境大学」との連携
【実施日時】2020年9月12日～11月28日

【内 容】

- ・エコネット近畿主催の資金調達まるわかりセミナーが、修了認定の連携講座として参加者に紹介された。
- ・おおさか市民環境大学での団体紹介プレゼン、カードでの相談。（2020年11月28日）

＜他団体への協力＞

●京都市ごみ減量推進会議

「コロナ共生社会のライフスタイルは京都から」のインタビューに協力

「コロナ禍で環境団体に起きていることと、Afterコロナに向けた展望の大切さ」を語った

<https://kyoto-leaftea.net/movies/shoami/>

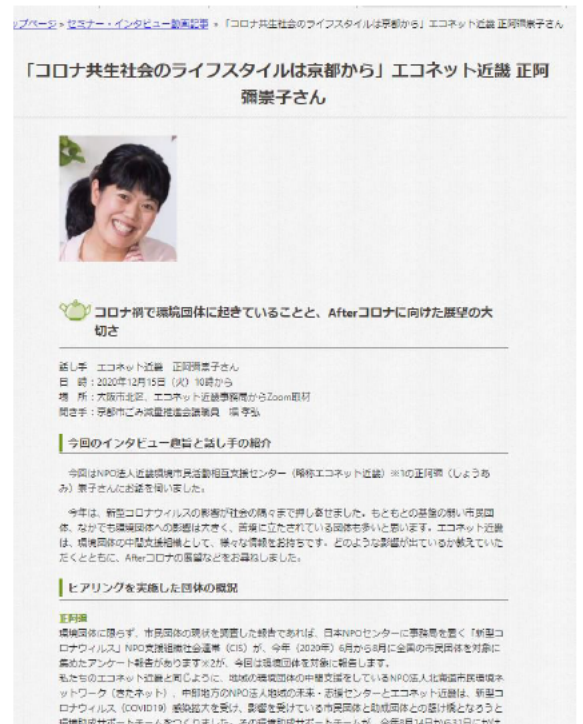
●イオンリテール株式会社 近畿カンパニー

イオンチアーズクラブ 壁新聞審査会の審査協力と活動アドバイス

【実施日時】2021年2月3日（審査会）

イオンの店舗が地域の子ども向けに環境をテーマに体験と学習を行うクラブ「チアーズクラブ」を実施している。クラブでは年に1度のプレゼンでの活動発表を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響で、壁新聞による活動発表へと変更し、審査を行った。

エコネット近畿は、審査会の開催方法のアドバイスと審査の協力を行った。審査会後も2021年度のクラブの活動について、アドバイスを行った。



1 役員等の数

- ・理事長 1人
- ・副理事長 3人
- ・理事 13人
- ・監事 2人

2 2020年度総会の開催

【実施日時】2020年8月7日（金） 14：00～16：00

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】40名（本人出席：5名、委任状出席：16名、書面表決：19名）

※今年度は新型コロナウイルス感染症の観点から、最少人数で開催した。

【内 容】審議事項

第1号議案	2019年度 事業報告書	承認の件
第2号議案	2019年度 活動計算書、監査報告	承認の件
第3号議案	3ヵ年計画（案）	承認の件
第4号議案	2020年度 事業計画書（案）	承認の件
第5号議案	2020年度 活動予算書（案）	承認の件
第6号議案	その他報告事項について	

3 理事会の開催

第52回 定例理事会

【実施日時】2020年5月12日（火）19：00～21：00

【実施場所】オンライン開催（Zoom）

【出席者数】16人（本人出席16人） ※議事録がなく不明

【内 容】2019年度事業報告書案、活動計算書案の承認の件
2020年度事業計画書案、活動予算書案の承認の件
総会の開催方法、時期について

事務局の現状について（新型コロナによる緊急事態宣言と新規職員）

セブン-イレブン記念財団協定書、助成金、提案について

第53回 定例理事会

【実施日時】2020年7月22日（水）19：10～21：20

【実施場所】オンライン開催（Zoom）

【出席者数】15人（本人出席15人）

【内 容】2019年度事業報告書案、活動計算書案の承認の件

2020年度事業計画書案、活動予算書案、新規事業の承認の件

事務局の現状について（職員、インターン体制、新型コロナウイルス対策）

セブン-イレブン記念財団協定書、助成金、3ヵ年計画について

運営体制

第54回 定例理事会

【実施日時】2020年10月22日（水）19：00～21：50

【実施場所】オンライン開催（Zoom）

【出席者数】13名（本人出席13名）

【内 容】助成金セミナー事業・収支見込報告、活動の進捗報告
セブン-イレブン記念財団協定書について
来年度からの組織体制、コロナ感染や災害時の事業継続計画について
リンクアップフォーラムへの入会、給付金や助成金の申請状況報告
来年度委託事業の相談状況について

第55回 定例理事会

【実施日時】2021年3月2日（火）19：00～21：30

【実施場所】オンライン開催（Zoom）

【出席者数】12名（本人出席12名）

【内 容】活動の進捗報告、来年度の事業計画、来年度以降の理事会構成について
インターン生の受入れ、委託事業の報告
セブン-イレブン記念財団協定書、2022年度以降の助成金について

4 運営会議・プロジェクトチームの開催

運営会議 12月、3月開催

プロジェクトチーム会議 4月、6月、11月開催

5 インターン等の受入れ

NPO法人ドットジェイピーの「NPOインターンシッププログラム」より、3名の学生インターンの受入れを行った。2期のプログラムに参加し、2020年夏（8～9月）は1名、2021年春（2～3月）は2名を受入れ、オフィスワークや現地取材、イベント運営、広報等の活動を実施した。

今後もインターン生の受入れを検討しているため、参加希望者がインターンシッププログラムを通してやりたいことを確認し、よりインターン生がやりたいことを実現できる活動方法を検討する。

会員の推移

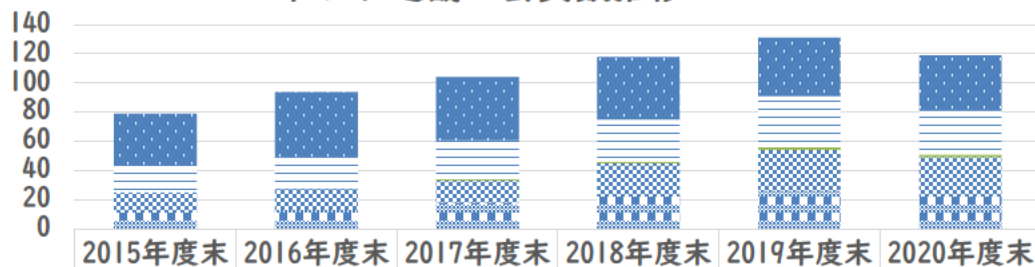
会員数の推移

今年度は、会員の大幅な増加を目指すのではなく、現会員を大切にしながらコミュニケーション方法を検討していたが、緊急的な状況と判断し、多くの団体が総会前であろう5月と新型コロナウイルスの状況が見えてきた8月に、主に事務所を構えている会員団体に困りごと等のヒアリングを行った。


新型コロナウイルス感染症の影響により、事業縮小や活動休止状態の団体から会員継続が難しい旨の連絡があり、12団体・人が退会となった。この状況をふまえ、今後は中間支援組織やネットワーク組織との連携を深め、新型コロナウイルス感染拡大化での会員とのコミュニケーションやサポート方法、会員特典（サポートやイベント開催等）の提供を検討する。

		2020年度末		前年度比	
会 員	正 会 員	個 人	38	2人減	
		団 体	30	5団体減	
		企 業	2	-	
	賛 助 会 員	個 人	27	1人減	
		団 体	22	4団体減	
		企 業	0	-	
合計（団体・人）		119	12団体・人減		

エコネット近畿 会員数推移



	2015年度末	2016年度末	2017年度末	2018年度末	2019年度末	2020年度末
■ 正会員個人	35	45	43	43	40	38
▨ 正会員団体	19	22	27	29	35	30
■ 正会員企業	0	0	1	1	2	2
▨ 賛助会員個人	14	14	15	23	28	27
▨ 賛助会員団体	11	13	18	22	26	22



NPO法人エコネット近畿

(特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター)

〒530-0041




大阪市北区天神橋2丁目北1-14 サンプラザ南森町401

TEL : 06-6881-1133

FAX : 06-6949-8288

E-mail : jimukyoku@econetkinki.org

URL : <http://econetkinki.org>



第10期 平成30年度(2018)

活動計算書

自:平成30年度(2018) 4月 1日
至:平成31年度(2019) 3月31日

大阪市北区天神橋2丁目北1-14
サンプラザ南森町401号室

特定非営利活動法人 近畿環境市民活動相互支援センター

理事長 平田 通文

監 査 報 告 書

私は、特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター定款第48条の規定に基づき、平成30年4月1日より平成31年3月31日までの業務及び会計に関する監査を行い、事業報告及び収支決算は、内容を適切に反映していると認めます。

2019年 5月 16日

特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター

平成30年度 監事

濱中武志

平成30年度 監事

坂本雅史

平成30年度(2018) 活動計算書

平成30年(2018)4月1日から平成31年(2019)3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	203,000	
賛助会員受取会費	62,000	265,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	58,430	58,430
3. 受取助成金		
受取民間助成金		
受取運営助成金	7,512,876	
受取事業助成金		
近畿の環境団体情報交流会 助成金	383,520	
環境市民活動のための助成金セミナー 助成金	185,893	
マネジメントスキルアップセミナー	0	8,082,289
4. 事業収益		
近畿の環境団体情報交流会	864,000	
環境市民活動のための助成金セミナー	74,500	
環境NPOスキルアップセミナー	13,200	
マネジメントセミナー	15,600	
環境NPO・企業と行政の協働セミナー	43,000	
エコネット・カフェ	15,000	
河川自然環境再生支援事業	0	1,025,300
5. その他収益		
受取利息	24	
雑収益	500	524
経常収益計		9,431,543
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	4,104,000	
法定福利費	692,218	
通勤費	248,810	
福利厚生費	68,996	
人件費計	5,045,028	
(2) その他経費		
諸謝金	89,096	
印刷製本費	6,340	
会議費	123,261	
旅費交通費	696,942	
通信運搬費	345,025	
消耗品費	66,809	
水道光熱費	151,216	
地代家賃	900,000	
賃借料	226,160	
保険料	18,797	
支払手数料	1,592	
広告宣伝費	61,107	
その他経費計	2,686,344	
事業費計		7,731,373
2. 管理費(事務所)		
(1) 人件費		
給料手当	456,000	
臨時雇賃金	0	
法定福利費	76,913	
通勤費	27,646	
福利厚生費	7,666	
人件費計	568,225	
(2) その他経費		
諸謝金	0	
印刷製本費	0	
会議費	19,767	
旅費交通費	103,180	
通信運搬費	43,170	
消耗品費	233,298	
水道光熱費	50,405	
地代家賃	300,000	
賃借料(会計ソフト)	64,800	
保険料	5,040	
租税公課	600	
支払手数料	6,912	
広告宣伝費	120,000	
新聞図書費	0	
研修費	0	
雑費	0	
その他経費計	947,172	
管理費計		1,584,392
経常費用計		9,315,765
当期経常増減額		115,778
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		1,149
当期経常外増減額		▲ 1,149
当期正味財産増減額		114,629
前期繰越正味財産額		2,457,837
次期繰越正味財産額		2,572,466

平成30年度(2018) 貸借対照表

平成31年(2019)3月31日

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,157,572		
未収金	3,000		
前払費用	133,816		
流動資産合計		3,294,388	
2. 固定資産			
固定資産合計			
資産合計			3,294,388
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	450,979		
未払費用	74,121		
前受年会費	25,000		
預り金	171,822		
流動負債合計		721,922	
2. 固定負債			
固定負債合計			
負債合計			721,922
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		2,457,837	
当期正味財産増減額		114,629	
正味財産合計			2,572,466
負債及び正味財産合計			3,294,388

平成30年度(2018) 財産目録

平成31年(2019)3月31日

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金			
りそな銀行普通預金	3,094,829		
郵貯普通預金	62,743		
未収金	3,000		
前払費用	133,816		
流動資産合計		3,294,388	
2. 固定資産			
固定資産合計			
資産合計			3,294,388
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	450,979		
未払費用	74,121		
前受年会費	25,000		
預り金			
社会保険料	128,942		
雇用保険料	14,070		
源泉所得税	21,510		
住民税	7,300		
流動負債合計		721,922	
2. 固定負債			
固定負債合計			
負債合計			721,922
正味財産			2,572,466

特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター

財 務 諸 表 の 注 記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 資金の範囲について

資金の範囲については、現金・預金である。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	近畿の環境団体 情報交流会	環境市民活動 助成金セミナー	資金調達に関する スキルアップセミナー	マネジメント セミナー	企業と環境NPOの 協働セミナー	エコネット・カフェ	河川自然環境 再生支援事業	事業部門計	管理部門	合 計
I 経常収益										
1. 受取助成金										
受取運営助成金	2,253,863	2,253,863	751,288	375,644	375,644	375,644	375,644	6,761,588	751,288	7,512,876
受取事業助成金	383,520	185,893						569,413		569,413
受取助成金計	2,637,383	2,439,756	751,288	375,644	375,644	375,644	375,644	7,331,001	751,288	8,082,289
2. 受取会費									265,000	265,000
3. 受取寄付金	14,100							14,100	44,330	58,430
4. 事業収益	864,000	74,500	13,200	15,600	43,000	15,000		1,025,300		1,025,300
5. その他収益									524	524
経常収益計	3,515,483	2,514,256	764,488	391,244	418,644	390,644	375,644	8,370,401	1,061,142	9,431,543
II 経常費用										
(1) 人件費										
給料手当	1,368,000	1,368,000	456,000	228,000	228,000	228,000	228,000	4,104,000	456,000	4,560,000
臨時雇賃金										
法定福利費	230,739	230,739	76,913	38,457	38,457	38,457	38,457	692,218	76,913	769,131
通勤費	82,937	82,937	27,646	13,823	13,823	13,823	13,823	248,810	27,646	276,456
福利厚生費								68,996	7,666	76,662
人件費計	1,681,676	1,681,676	560,559	280,279	280,279	280,279	280,279	5,114,024	568,225	5,682,249
(2) その他経費										
諸謝金	33,411	11,137	11,137		33,411			89,096		89,096
印刷製本費	4,840	1,500						6,340		6,340
会議費	97,302	22,551	100	645	540	2,123		123,261	19,767	143,028
旅費交通費	651,025	31,297		1,120	2,860	10,640		696,942	103,180	800,122
通信運搬費	132,351	128,870	18,009	9,004	17,343	9,004	30,444	345,025	43,170	388,194
消耗品費	36,662	28,325			1,129	585	108	66,809	233,298	300,107
水道光熱費	40,324	40,324	20,162	10,081	10,081	20,162	10,081	151,216	50,405	201,621
地代家賃	240,000	240,000	120,000	60,000	60,000	120,000	60,000	900,000	300,000	1,200,000
賃借料	166,860	40,600	3,500		15,200			226,160	64,800	290,960
保険料	18,797							18,797	5,040	23,837
租税公課									600	600
支払手数料	432	648			216		296	1,592	6,912	8,504
広告宣伝費	42,560	13,810			4,737			61,107	120,000	181,107
新聞図書費										
研修費										
雑費										
その他経費計	1,464,564	559,062	172,908	80,850	145,517	162,514	100,929	2,686,344	947,172	3,633,516
経常費用計	3,146,240	2,240,738	733,466	361,130	425,797	442,794	381,209	7,731,373	1,584,392	9,315,765
当期経常増減額	369,243	273,518	31,021	30,114	▲ 7,153	▲ 52,150	▲ 5,565	639,029	▲ 523,251	115,778

3. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は、以下の通りです。当法人の正味財産は2,572,466円ですが、そのうち下記のとおり1,094,380円は河川自然環境再生支援事業に使用される財産です。したがって、使途が制約されない自己資金は1,478,086円です。

	前期繰越金額	当期収入額	当期支出額	当期差額	次期繰越額
家電エコポイント寄付	1,116,224		21,844	▲ 21,844	1,094,380

第11期 2019年度
活動計算書

自:2019年度 4月 1日
至:2020年度 3月31日

大阪市北区天神橋2丁目北1-14
サンプラザ南森町401号室

特定非営利活動法人 近畿環境市民活動相互支援センター

理事長 平田 通文

監査報告書

私は、特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター定款第48条の規定に基づき、2019年4月1日より2020年3月31日までの業務及び会計に関する監査を行い、業務報告及び収支決算は、内容を適切に反映していると認めます。

2020年5月19日

特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター

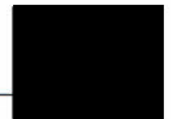
2019年度 監事

濱中 武志



2019年度 監事

坂本 雅史



2019年度貸借対照表

2020年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,256,235		
未収金	1,002,662		
前払費用	123,692		
流動資産合計		3,382,589	
2. 固定資産			
固定資産合計			
資産合計			3,382,589
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	278,349		
前受年会費	10,000		
預り金	98,314		
流動負債合計		386,663	
2. 固定負債			
固定負債合計			
負債合計			386,663
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		2,572,466	
当期正味財産増減額		423,460	
正味財産合計			2,995,926
負債及び正味財産合計			3,382,589

2019年度 財産目録

2020年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	144,544		
りそな銀行普通預金	2,062,397		
郵貯普通預金	49,294		
未収金	1,002,662		
前払費用	123,692		
流動資産合計		3,382,589	
2. 固定資産			
固定資産合計			
資産合計			3,382,589
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	278,349		
前受年会費	10,000		
預り金			
社会保険料	61,861		
雇用保険料	14,963		
源泉所得税	13,090		
住民税	8,400		
流動負債合計		386,663	
2. 固定負債			
固定負債合計			
負債合計			386,663
正味財産			2,995,926

2019年度 活動計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	239,500		
賛助会員受取会費	90,000	329,500	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	109,339	109,339	
3. 受取助成金			
受取地方公共団体助成金			
事業助成金			
エコネット・カフェ 助成金	124,739		
受取民間助成金			
運営助成金	7,694,643		
事業助成金			
近畿の環境団体情報交流会 助成金	366,214		
環境市民活動のための助成金セミナー 助成金	149,268		
NPO法人市民創造ファンド(研修助成)	17,740	8,352,604	
4. 事業収益			
近畿の環境団体情報交流会	1,134,000		
環境市民活動のための助成金セミナー	60,000		
環境NPOスキルアップセミナー	8,500		
マネジメントセミナー	11,000		
環境NPO・企業と行政の協働セミナー	26,000		
エコネット・カフェ	38,500		
助成サミット(WEB版)	8,800		
行政等委託事業	994,862	2,281,662	
5. その他収益			
受取利息	32		
受取手数料	119,800		
雑収入	9,913	129,745	
経常収益計			11,202,850
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	4,248,000		
法定福利費	675,646		
福利厚生費(通勤手当)	240,386		
人件費計	5,164,032		
(2) その他経費			
諸謝金	389,020		
会議費	131,334		
旅費交通費/宿泊費	1,012,500		
通信運搬費	267,486		
備品費/消耗品費(事務用品・印刷費)	181,976		
水道光熱費	77,451		
地代家賃	911,112		
賃借料	155,300		
保険料	25,779		
租税公課	799		
支払手数料	611,598		
広報宣伝費	19,440		
諸会費	1,500		
雑費	540		
その他経費計	3,785,835		
事業費計		8,949,867	
2. 管理費(事務所)			
(1) 人件費			
給料手当	472,000		
法定福利費	75,072		
福利厚生費(通勤手当、健康診断)	40,302		
人件費計	587,374		
(2) その他経費			
会議費・交際費	8,193		
旅費交通費	102,250		
通信運搬費	197,247		
備品費/消耗品費(事務用品・印刷費)	208,646		
水道光熱費	155,000		
地代家賃	300,000		
賃借料(会計ソフト、総会会場)	101,700		
保険料(事務所総合保険)	5,040		
租税公課	800		
支払手数料	6,752		
広報宣伝費	121,110		
研修費(研修時交通費含む)	29,116		
諸会費	2,000		
雑費	4,295		
その他経費計	1,242,149		
管理費計		1,829,523	
経常費用計			10,779,390
当期経常増減額			423,460
III 経常外収益		0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用		0	
経常外費用計			0
当期経常外増減額			0
当期正味財産増減額			423,460
前期繰越正味財産額			2,572,466
次期繰越正味財産額			2,995,926

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 資金の範囲について
資金の範囲については、現金・預金である。

2. 事業別損益の状況
事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	情報交流会	環境市民活動 助成金セミナー	資金調達に関する スモールアップセミナー	マネジメント セミナー	企業と環境NPOの 協働セミナー	エコネット・カフェ	河川自然環境 再生支援事業	助成サミット (WEB版)	万博調査事業	事業部門計	管理部門	合 計
I 経常収益												
1. 受取助成金												
運営助成金	1,973,344	1,973,344	235,135	235,135	349,891	871,915	120,378	177,755	172,135	6,109,032	1,585,611	7,694,643
事業助成金	366,214	149,268				124,739				640,221	17,740	657,961
受取助成金計	2,339,558	2,122,612	235,135	235,135	349,891	996,654	120,378	177,755	172,135	6,749,253	1,603,351	8,352,604
2. 受取会費												329,500
3. 受取寄付金	30,461									30,461	78,878	109,339
4. 事業収益	1,134,000	60,000	8,500	11,000	26,000	38,500		8,800	994,862	2,281,662		2,281,662
5. その他収益		60,000								60,000	69,745	129,745
経常収益計	3,504,019	2,242,612	243,635	246,135	375,891	1,035,154	120,378	186,555	1,166,997	9,121,376	2,081,474	11,202,850
II 経常費用												
(1) 人件費												
給料手当	1,416,000	1,416,000	141,600	141,600	236,000	613,600	47,200	94,400	141,600	4,248,000	472,000	4,720,000
法定福利費	225,215	225,215	22,522	22,522	37,536	97,593	7,507	15,014	22,522	675,646	75,072	750,718
福利厚生費(通勤費等)	80,129	80,129	8,013	8,013	13,355	34,722	2,671	5,341	8,013	240,386	40,302	280,688
人件費計	1,721,344	1,721,344	172,135	172,135	286,891	745,915	57,378	114,755	172,135	5,164,032	587,374	5,751,406
(2) その他経費												
諸謝金	33,411	20,000	11,137	11,137	10,023	57,912			245,400	389,020		389,020
会議費・交際費	106,639	22,495			650	1,550				131,334	8,193	139,527
旅費交通費	863,190	35,050	1,800	560	2,520	2,500	6,880		100,000	1,012,500	102,250	1,114,750
通信運搬費	83,836	108,586				71,064	2,000	2,000		267,486	197,247	464,733
備品費/消耗品費(事務用品・印刷費)	86,427	43,010		199	7,433	38,617			6,290	181,976	208,646	390,622
水道光熱費	12,000	12,000	3,000	3,000	3,000	6,000	3,000	3,000	32,451	77,451	155,000	232,451
地代家賃	240,000	240,000	60,000	60,000	60,000	120,000	60,000	60,000	11,112	911,112	300,000	1,211,112
賃借料	131,300					21,000			3,000	155,300	101,700	257,000
保険料(事務所総合保険)	25,779									25,779	5,040	30,819
租税公課									799	799	800	1,599
支払手数料	440	14,613					732		595,813	611,598	6,752	618,350
広報宣伝費							19,440			19,440	121,110	140,550
研修費(研修時交通費含む)										1,500	2,000	3,500
諸会費							1,500			1,500	2,000	3,500
雑費									540	540	4,295	4,835
その他経費計	1,583,022	495,754	75,937	74,896	83,626	318,643	93,552	65,000	995,405	3,785,835	1,242,149	5,027,984
経常費用計	3,304,366	2,217,098	248,072	247,031	370,517	1,064,558	150,930	179,755	1,167,540	8,949,867	1,829,523	10,779,390
当期経常増減額	199,653	25,514	▲4,437	▲896	5,374	▲29,404	▲30,552	6,800	▲543	171,509	251,951	423,460

3. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は、以下の通りです。当法人の正味財産は2,999,132円ですが、そのうち下記のとおり1,063,828円は河川自然環境再生支援事業に使用される財産です。したがって、使途が制約されない自己資金は1,935,304円です。

	前期繰越金額	当期収入額	当期支出額	当期差額	次期繰越額
家電エコポイント寄付金	1,094,380		30,552	▲30,552	1,063,828

第12期 2020年度

活動計算書

自:2020年度 4月 1日
至:2021年度 3月31日

大阪市北区天神橋2丁目北1-14
サンプラザ南森町401号室

特定非営利活動法人 近畿環境市民活動相互支援センター

理事長 平田 通文

監査報告書

私は、特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター定款第48条の規定に基づき、2020年4月1日より2021年3月31日までの業務及び会計に関する監査を行い、業務報告及び収支決算は、内容を適切に反映していると認めます。

2021年5月10日

特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター

2020年度 監事

濱中武志

2020年度 監事

坂本雅史

2020年度活動計算書(案)

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	209,000		
賛助会員受取会費	79,000	288,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	416,330	416,330	
3. 受取助成金			
受取地方公共団体助成金			
コロナ関連給付金・補助金	3,117,406		
受取民間助成金			
運営助成金	7,631,826		
事業助成金			
近畿の環境団体情報交流会 助成金	351,661		
環境市民活動のための助成金セミナー 助成金	193,810	11,294,703	
4. 事業収益			
近畿の環境団体情報交流会	61,900		
環境市民活動のための助成金セミナー	446,103		
助成サミット	72,600		
コーディネーターファーム(育成)	0		
コーディネーターファーム(マッチング)	0		
コーディネーターファーム(サポート)	0		
中間支援連携	0		
河川自然環境再生事業(プラスチックごみゼロシンポジウム)	1,725,218		
河川清掃団体交流会(行政委託事業)	800,000	3,105,821	
5. その他収益			
受取利息	44		
受取手数料	198,562		
雑収入	7,537	206,143	
経常収益計			15,310,997
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	5,451,543		
法定福利費	815,551		
福利厚生費(通勤手当)	217,752		
人件費計	6,484,846		
(2) その他経費			
諸謝金	605,362		
会議費	5,688		
旅費交通費/宿泊費	128,115		
通信運搬費	217,416		
備品費/消耗品費(事務用品・印刷費)	165,975		
水道光熱費	60,000		
地代家賃	1,102,224		
賃借料	397,160		
保険料	2,640		
租税公課	649		
広告宣伝費	64,220		
研修費(研修時交通費含む)	28,100		
新聞図書費	7,722		
支払手数料	18,605		
委託料	414,630		
雑費	6,571		
その他経費計	3,225,077		
事業費計		9,709,923	
2. 管理費(事務所)			
(1) 人件費			
給料手当	816,600		
法定福利費	75,043		
福利厚生費(通勤費、健康診断)	79,337		
人件費計	970,980		
(2) その他経費			
旅費交通費	35,600		
通信運搬費	216,290		
備品費/消耗品費(事務用品・印刷費)	229,849		
水道光熱費	96,305		
地代家賃	120,000		
保険料(事務所総合保険)	4,845		
租税公課	600		
支払手数料	6,150		
広告宣伝費	120,000		
諸会費	37,000		
その他経費計	866,639		
管理費計		1,837,619	
経常費用計			11,547,542
当期経常増減額			3,763,455
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
当期経常外増減額			0
税引前当期正味財産増減額			3,763,455
法人税、住民税及び事業税			114,500
当期正味財産増減額			3,648,955
前期繰越正味財産額			2,995,926
次期繰越正味財産額			6,644,881

2020年度 貸借対照表 (案)

2021年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,113,489		
未収金	361,033		
前払費用	125,149		
流動資産合計		7,599,671	
2. 固定資産			
固定資産合計			
資産合計			7,599,671
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	439,382		
未払法人税等	79,500		
未払費用	154,726		
前受年会費	2,000		
預り金	279,182		
流動負債合計		954,790	
2. 固定負債			
固定負債合計			
負債合計			954,790
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		2,995,926	
当期正味財産増減額		3,648,955	
正味財産合計			6,644,881
負債及び正味財産合計			7,599,671

2020年度 財産目録 (案)

2021年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	55,385		
りそな銀行普通預金	7,017,440		
郵貯普通預金	40,664		
未収金	361,033		
前払費用	125,149		
流動資産合計		7,599,671	
2. 固定資産			
固定資産合計			
資産合計			7,599,671
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	439,382		
未払法人税等	79,500		
未払費用	154,726		
前受年会費	2,000		
預り金			
社会保険料	199,148		
雇用保険料	17,886		
源泉所得税	62,148		
住民税	0		
流動負債合計		954,790	
2. 固定負債			
固定負債合計			
負債合計			954,790
正味財産			6,644,881

財務諸表の注記(案)

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 資金の範囲について

資金の範囲については、現金・預金である。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

科目	近畿の環境団体 情報交流会	環境市民活動 助成金セミナー	助成サミット	コーディネーター ファーム (育成)	コーディネーター ファーム (マッチング)	コーディネーター ファーム (サポート)	中間支援連携	河川自然環境 再生支援事業 (プラスチックごみゼロシンポ ジウム)	河川清掃団体 交流会 (行政委託事業)	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益												
1. 受取助成金												
運営助成金	700,051	1,277,101	414,525	993,976	640,051	928,576	414,525	412,124	552,526	6,333,454	1,298,372	7,631,826
事業助成金	351,661	193,810								545,471		545,471
コロナ関連給付金・補助金									247,892	247,892	2,869,514	3,117,406
受取助成金計	1,051,712	1,470,911	414,525	993,976	640,051	928,576	414,525	412,124	800,418	7,126,818	4,167,885	11,294,703
2. 受取会費											288,000	288,000
3. 受取寄付金	19,571	16,680								36,251	380,079	416,330
4. 事業収益	61,900	446,103	72,600					1,725,218	800,000	3,105,821		3,105,821
5. その他収益		155,062								155,062	51,081	206,143
経常収益計	1,133,183	2,088,756	487,125	993,976	640,051	928,576	414,525	2,137,342	1,600,418	10,423,952	4,887,045	15,310,997
II 経常費用												
(1) 人件費												
給料手当	480,000	1,149,600	240,000	720,000	480,000	720,000	240,000	779,709	642,234	5,451,543	816,600	6,268,143
法定福利費	75,043	150,085	37,521	112,564	75,043	112,564	37,521	117,811	97,400	815,551	75,043	890,594
福利厚生費(通勤費等)	22,008	63,696	11,004	33,012	22,008	33,012	11,004	11,004	11,004	217,752	79,337	297,089
保険料												
人件費計	577,051	1,363,381	288,525	865,576	577,051	865,576	288,525	908,524	750,638	6,484,846	970,980	7,455,826
(2) その他経費												
諸謝金	170,000	43,062	40,000				2,000	113,000	237,300	605,362	0	605,362
会議費・交際費	3,360	254							2,074	5,688	0	5,688
旅費交通費	102,235	13,480							12,400	128,115	35,600	163,715
通信運搬費	58,653	71,995						26,490	60,278	217,416	216,290	433,706
備品費/消耗品費(事務用品・印刷費)	82,328	54,741							28,906	165,975	229,849	395,824
水道光熱費	3,000	3,000	6,000	8,400	3,000	3,000	6,000	3,600	24,000	60,000	96,305	156,305
地代家賃	120,000	120,000	120,000	120,000	60,000	60,000	120,000	120,000	262,224	1,102,224	120,000	1,222,224
賃借料		105,880						218,680	72,600	397,160	0	397,160
保険料(事務所総合保険)	2,640									2,640	4,845	7,485
租税公課									649	649	600	1,249
支払手数料	5,795	12,710						100		18,605	6,150	24,755
広報宣伝費	2,000								62,220	64,220	120,000	184,220
研修費(研修時交通費含む)									28,100	28,100	0	28,100
諸会費										0	37,000	37,000
新聞図書費									7,722	7,722	0	7,722
委託料								414,630		414,630	0	414,630
雑費									6,571	6,571	0	6,571
その他経費計	550,011	425,122	166,000	128,400	63,000	63,000	128,000	896,500	805,044	3,225,077	866,639	4,091,716
経常費用計	1,127,062	1,788,503	454,525	993,976	640,051	928,576	416,525	1,805,024	1,555,682	9,709,923	1,837,619	11,547,542
当期経常増減額	6,121	300,253	32,600	0	0	0	▲2,000	332,318	44,736	714,028	3,049,427	3,763,455

3. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等(河川自然再生支援事業)の前期繰越金は1,063,828円でした。当期にオンラインのプラスチックごみゼロシンポジウムの開催等の費用として、全額活用しました。したがって、使途が制約された寄付金の次期の繰越はありません。

	前期繰越金額	当期収入額	当期支出額	当期差額	次期繰越額
家電エコポイント寄付金	1,063,828	0	1,063,828	▲1,063,828	0